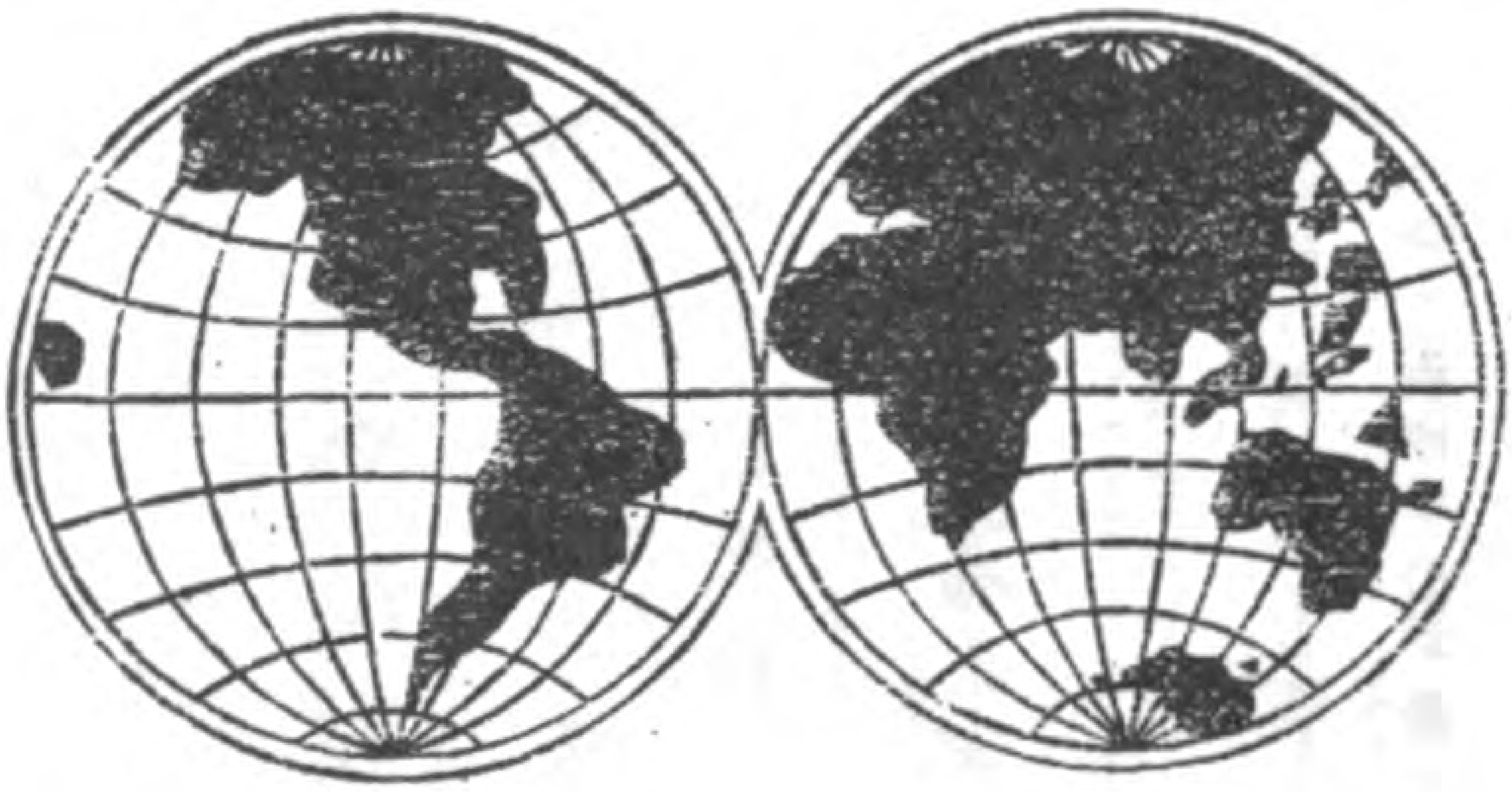
女子青年界

地と其に充るもの
世界と其中に住むものとは
皆神のもの也



第十五巻十一月號


赤ちゃんのお口を
清潔にするには、
芳香含嗽料
ライオン水歯磨の
二三滴をコップ一杯の水に滴し、そ
れに脱脂綿を浸して、お口中を拭
つてあげるのが最も宜しうございます。
ライオン歯磨

十五卷 十號

女子青年界目次

大正七年 十一月號

外國人交際用贈答用品充實完備
內地流行界より一歩づゝ先走つた品物のみ



意匠、技巧優良
價格低廉
信用安全
取引敏速

永年外國人向にて苦心の點品物に現はれて居る筈です態々横濱迄御用命の甲斐あると確信致します

横濱市辨天通二丁目拾貳番地

辨天商會

W. M. Vories and Company, Architect

Hachiman, Omi
and
National Y. M. C. A. Building,
Omo te Sa rugkucho, Knda, Tokyo.

建築 設計 監督 ヴォーリズ合名會社

近江八幡町

東京出張所 基督教青年會同盟本部內

東京市神田區表猿樂町

電話本局六二四番

…殿下御買上八回

桑港萬國大博覽會銀牌受領

於共進會博覽會金、銀、銅牌廿餘回受賞

御申越次第商品目錄進呈

…斐産

水晶 細工品

印象刻
眼鏡一式
軸掛
裝身具
床置物
珠數

指環　中差　簪　櫛　根掛　エリ止　帯メ　守玉　ヒン　カフス釦

印傳 袋物

二ッ折札入
弗入
財布
莨入
手提
手袋
スクールバック

共紐　叺　御殿持　巻莨入　火の用心　文人持

一水晶印章篆刻并に細工品共懇切を旨とし精々勉强仕り
一御好みに應じ如何様にも確實に御調進可申上候

商標

玉泉堂

山梨縣甲府市柳町

電話百〇二番

Hakodate Trading Company, Lt

Trappist Creamery and
Condensed Milk Factory

Successors to

HAKODATE AMERICAN-JAPANESE TRADING Co.

Capital Stock Yen 500,000.00

IMPORTS: Farm machinery, hardware, dairy machinery, gaso engines, motors, tractors, steel, iron, tin plate, rub boots, etc., etc.

EXPORTS: Minerals, Canned goods, dried fish, lumber, conden milk, butter, cheese, etc., etc.

Location: Trappist Condensed Milk Factories:
Tobetsu Factory, Kamiiso
Kikonai „ Kamieso
Hongo „ Kameda

Please send Trappist Order to Main Office, 25, Suehiro-cho, Hakodo

Telephone 2072
Cable Address Nichibu
Use ABC Code. 5th Edition

Nobuzo Kawai
General Manager

FRAMES, PICTURES, POST CARDS.

OKAMOTO, CHIKYU-DO & CO,

OGAWAMACHI ST, TOKYO, TEL. HONKYOKU- No. 1100.

SOL AGENTS IN JAPAN

Cosmos Pictures Co. & National Art Co.

New York, U. S. A.

スモス繪畫會社 ◎ 米國 ◎ ナショナルアート會社

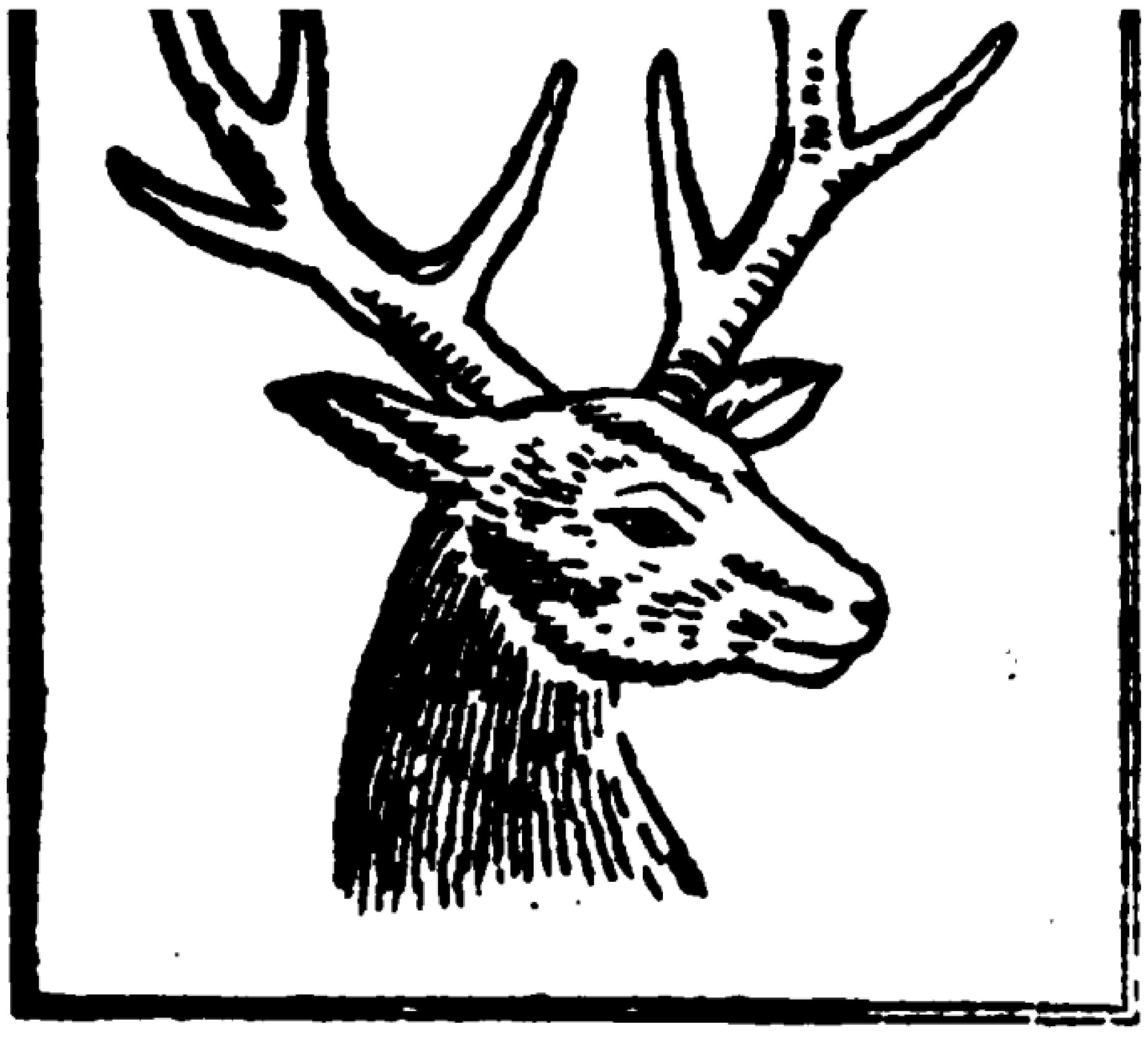
日本總代理店

額緣繪畫繪葉書輸出入

岡本地球堂商店

神田區小川町通

振替東京一九七〇番　電話本局千百番



婦人令孃用

皮コート 襟巻 マフ スリッパー 羽毛
裏地 水彩畫類 其他毛皮製品種々

最新流行形いろ〳〵 取揃へてありますから 多少にかゝわ
用命の程御願上げます、又た御贈答品としては最も好適品
ます、御註文も御好みに依り入念調製いたします。

横濱市辨天通一丁目十四番地
コメヤ號 山岡商店
電話長二三七〇番

東京市京橋區南金六町一番地
コメヤ號 山岡商店
電話新橋三二七九

夏期出張所 信州輕井澤

PROP. C. YAMAO
(TANNER)

Furs, Coats, Stoles,
Brocade Linings, Slip
Feathers, and Wat
color pictures.

No. 14, Benten-dori, Ite
Yokohama.

Tel. 3370.

PICTURE DEPT

No. 4, Benten-dori, Ite
Yokohama.

BRANCH:

Tel. Shimbashi 2179.
No. 1, Minamikinroku
Kyobashi,
Near Shimbashi, Tok

MAIN STORE-NI

Summer Branc
Karuizawa

MARUICHIYA

Manufacturer of and Dealer in

ilk goods, Paper wares and Stationeries,

Wholesale and Retail

ancy goods department:
No. 8, Benten-dori.

Stationery Department:
No. 9, Benten-dori.

Tel. 4751.

美術雜貨製造販賣

丸一屋

横濱辨天通一ノ八、九番地

電話四七五一

VERYTHING PHOTOGRAPH

EXPERT KODAK FINISHE

S. MIKADO PHOTO

29, Unemecho Kyobashi

TOKYO JAPAN.

Tel No. 2272. Shimbashi

寫眞器械材料販賣

出寫併寫眞一般應需

美門商會

東京市京橋區釆女町
廿九番地歌舞伎座前
電話新橋二二七二番
振替東京一九四九九四番

子青年界　第十五巻　十一月號
大正七年十一月十五日發行

說

何ぞ空しく立つや

河井道子

勞働者の拂底で、其が物價騰貴に大なる影響して居ります。又一般に働人が不足なので、近では女中がないと云ふ聲が主婦より非常にれます。郵便電信が延着致しますと、その原が足りないと云ふ事にあるさうです。一の電けるにも二十分も暇どらせられるやうな場合ありますが、其原因も人が不足ゆゑと申ます等の通信機關の不便のみによらず、消耗品食騰貴は働人の少なくなつたに非常に原因して居ります。一體仕事が殖えて働く者の足らぬと云ふ事は、一方から見ると世の中が複雑になり進歩の域に進む結果でありますから個人々々が忙がしいと云ふ事も又慶賀すべき事であります。只片方に何もせず空しく暮して居る者が多いが爲に、それで働きに手不足を生じ、眞面目に働く者が過度の激勞をしなければならないとなれば、之は大に悲しむ可きことになります。斯くて富の分配が不公平であると同時に又働の分配も非常に不釣合になります。それ

酒に飲む親もあり、友人の貰い寶を土石のやぶ輩もあります。今歐米の交戰國を見ると男きが平均して來たやうに見えます。即ち男は女は遊ぶ者、換言すれば男は食はし女は食べ貰ふ者と云ふやうな觀念も、實行も一除されに、男子が戰地に赴けば婦人は國にあつて男りを爲すと云ふが普通になつて參りました。前米國では產業に從事する割合は男八十六に十四、英國は男七十五に對する女二十五、獨八十に對する女二十でしたが、今日はそれが反比例して居ると云ふて宜しうございます。合衆國だけの婦人の働きを此處に擧げますと萬の婦女子が新に働き出し、總數九百萬の女働いてゐます。彼等のうち二十萬五千人鑵詰十七萬五千人織物、二十一萬二千裁縫、十三ヤス類製造、九萬五千人靴製造、四十萬人軍

仕、門番、受附等男に代つてして居ります。又英國では戰爭前には一年間に需要する食料の五分の一を供給しましたが、開戰後は五分の四を供給するやうになつたのは、全く婦人が農事生產業に努力した結果だと申します。

日本も戰爭故に色々の事に手不足を感ずるやうになつたのは、明かなことであります。それならば男女共皆忙しく働いて居るかと云ふならば、婦人は養なつて貰ふ者、着せて貰ふ者と云ふやうな思想が、仲々根深く社會にあつて、働くと云ふことに對しては、輕蔑の念を以て見るのが多いのであります。其所で婦人が働くといふ事は一方に於ては恥かしく、一方に於ては輕蔑的に思はれて居つて、矢張何もしないのがよいと云ふ思想が下級以上の社會に有勝です。一體學問に王道なしと云ふ言葉がありますが、之は總てに當塡まる格言です。自分から勵んで取る

かなければ何物でも之を消化し活用させが出來ません。何故に金滿家の子女が學問於て、貧家の子女に劣る事が多いのですか分で勉強するといふ精神がなく、不自由をふ事もなく何でも注入的にして貰ふと云ふからであります。學校に行て出來なければ教師が來て又教へる、物が欲しければすぐてあてがふ、嫌ならばしないといふ樣に、で勵んでとるとか、或は自制自省といふ事らどうしても進歩はせず、他に同情なく、神を缺き高慢不遜の念が内外に現はれ、墮であります。聖書に勵んで取るといふてとてあると同時に、空虛にして何もなき者にると教へてあります。

葡萄畠の譬のうちに、葡萄畠の主人が朝早、工人を探がす譬があります。九時頃、午後三時頃と三度主人は彼方此方歩いて、[illegible]

時に出て見るとまだ何もせずに立つて居る者がありますので、主人が『何故終日空しく立つや』と咎めますと吾等を雇ふ者がないからだと返事致しました、其處で主人が日沒迄極單時間を雇ふに相當の價を與へたとは意味の深い話であります。

この空しく立つといふ事に二つ理由があります。一は仕事が澤山あつてもしないと云ふ者と、二は、したいと願ふても仕事がないと云ふのであります。普通は前者に見方する者が多いので、面倒だから、煩しいから、嫌だからといふ觀念より爲す可き事がありながら手を空しくするといふ事が普通に思はれます。何か爲さんと望む者に仕事のない事はありません。只餘り好き嫌があつて、何事でもするといふ決心のない者には往々後者に屬する樣な者があるのです。例へば青年會などに何でも喜んでお助けをすると親切に申出られる方がありますが折角此美はしい志でも、餘り好き嫌がある爲却て終日空しく[illegible]

と思ふ學生は、いくら罪がないと云ふても派
しい交際の機關なる芝居とか、茶話會とか、
とかいふものは時間上からみてもすてねばな
ん。或は體力氣力が續かないから在學中は好
藝なども捨てねばならぬ事が澤山あります。
義を實行して他を喜ばせやうとすれば己が持
金錢、時間或は面倒な世話などを厭ふては出
のではありません。基督に從ふても捨てなく
らぬ條件のものが澤山あります。若し商人が
眞珠を得やうとすれば、凡てのものを賣ても
め、又望のある地所を得やうとすれば凡てを
してそれを買ふものであると聖書は申ます。
者は手を空しくして居らぬが自然であります
何か仕度と云ふ願は女學生などに滿ち溢れて
す。要は善事ならば何でもすると云ふ決心で
す。その決心がないとあれが嫌ひこれが厭忌

りますが、今は自覺時代より實行時代に移りつゝあ
る時であります。この實行を先進國の婦人に倣ひ新
しい天地を日本婦人の爲に築き度いものであります
玆に注意を要することは、働くと云ふは啻に體力を
用ひ手足を動かすと云ふに限りません我等の時間、
財寶、思考、同情はみな働かせることです。昔詩人
ミルトンが失明した時に「佇立する者も尙君に奉仕
する者なり」と云ふて盲人にして尙爲す可き事あり
と云ふ意見を現はした事があります。彼の主なる傑
作は盲人になつてからのもので御座ます。
斯く考へて見ると誰にも仕事のない人と云ふ者は
あり得べきではありません、皆それ相當の荷を神樣
がお與へなすつたのでありますから、勝手氣儘をす
て實行の時代を輝し度ものであります。今や秋酣
にして樣々の活舞臺が開かれます、私共は己れの慾
を滿足させる爲の活動にあらず、各自の互の勞を負
ひ基督に倣ふて、力限りを盡し度いものと存ます。

國女子青年會祈禱週

十日より十六日迄は萬國基督教女子青年會定められてあります。既に順序書は印刷し配付したのでありますが、讀者中御希望のば本會に御申込下さい。特に祈る事多くあの週間を吾等は意味深く使ひ度いと思ひま間内に辯士を頼むもよろしき事であり又外親類友人等に手紙を出すのもよい機會であの時に世界の歴史地誌を勉强するも結構と。成可く此週間に於て世界的の知識を涵養を願ひます、題目は左の通りです。

主の祈

月十日　萬國女子青年會日
附。日本婦人の爲「我等の向上と協力」

十一日　亞弗利加日
附。日本婦人の爲「家庭」

十二日　米國日
附。日本婦人の爲「學校」

十三日　亞細亞日
附。日本婦人の爲「女子青年會」

十四日　歐洲日
附　日本婦人の爲「海外の姉妹」

同　十五日　歐洲日
附。日本婦人の爲「社會に働く姉妹」

同　十六日　歐洲日續き
附。日本婦人の爲「日本にある外國婦人」

萬國青年會員負擔金に就いて

極僅のものは其のみでは何の役にも立ちませんが集まれば非常な助となる例が澤山ある中に、私共が毎年一度義務として祈禱週間に出金する女子青年會負擔金は、實に世界の人類に幸福を與へる基となるのであります。即ち六十七萬の萬國女子青年會員が此祈禱週に際して醵金する筈になつて居る、一人に付金四錢宛の負擔金は、倫敦本部に於ける事務費、幹事の俸給、機關雜誌、或は其他の出版費に充てられます。私共の細微なる出金が此等の大事業の基礎の一となつたのであります。會員諸姉が此世界的事業に與かる好機を利用し、年々喜んで送金さるゝ事を本部委員は感謝すると同時に今年新に組織されし支部にても、是非之を認められ纏めて成可く早く本部へ御送金下さる樣に、又支部なき地方の方々には直接本部へ宛郵券にて御送り下さる樣願ひます。

出發點と到著地

三谷民子

る場所と到着する地とは大なる違ひがあり到着する地が計畫の最大なものとすれば出發時と場所を考へ其處に非常な用意を要するのです。換言すれば口をきくにもそれが原因となりはせぬかと思ふと僅の言葉のうちに計畫と用意がいる事でせう。

行つて僅か尺餘の石碑の前に立つ時、故人月日と其人のその墓に來た年月日とを見る時人の一生に於て如何なる時代を經たるかが讀であります。羅馬建國に非常に力ありしシゴールと戰ひし時、本國に送りし短かき通我來れり」「我見たり」「我勝てり」とは僅のきて居りますが「我來れり」との文句の中に軍隊を連れ幾多の困難を經て來たかは想像に餘りあるものであります。「我見たり」とは彼我の軍隊の優劣、地勢等に就て凡ての研究を表はして居るのであります。「我勝てり」とは我軍勇敢なりきと云ふことを表はせると同時に幾多の流せる血をも思はせるのであります。

扨出發點と到着地、矢張り短いのであるが人が生れて目的地に到着する即ち生の源に歸るには幾多の道程を經なければなりませぬ。今生活して居るのは里親に育てられて居る様なもので、限が來ると故郷に歸らねばなりませぬ。其歸る時如何なる目的で何處に行くかと考へねばなりませぬ。當もなく旅をすると思はぬ失敗に終るものであります。私が鎌倉に旅行をしやうと思つて新橋驛に行つた處が、少し遅車には時間が早かつたので、電車で横濱迄行て横濱

ればよいと思つて、電車に乘つて悠々と新
居ると車掌の「代々木〱」と云ふ聲に驚か
れは大變と急いで下車し誰か知つて居る人
ければよいがと、周圍を見廻し車掌にそつ
見せて私は櫻木町に行くのですがと云ふと
切に品川で乘換へて櫻木町行と書いてある
りなさいと敎へてくれました。私も品川で
行けばよいと云ふ事は知つて居りますが、
しい失敗をしたのですから、有難う有難う
云つて大急ぎで品川行きの車の中に身を隱
。之は知れきつた間違ですが、私が曾て巴
した時、米國の友人二人と英國より出立致
。三人寄つても一人にも足りない佛蘭西語
束ないものでしたが、どうにかわかるだら
て出掛ける事にしました。まづルアンに行
ンダークの墓を訪ふて巴里に向ふと云ふ事
二日此處に宿つて巴里に行く事にし馬車を

に行く道とは異ので、馬車のガラスを叩いてはもう
十分程かないのですが巴里に行く停車場に行くかと
覺束ない佛語で聞くと、五月蠅さうな顏をして大丈
夫間に合ひますと申します。どうしても來た道とは
異ふので乘つて居る私共は氣が氣でありません。所
が成程時間通りに巴里行の停車場に着きました。而
し私共の降りた停車場とは異ひます。私共の降りた
のは上野と云ふ樣な所で、巴里に行くのは東京驛の
樣な停車場でした。さあ荷物が心配になるので誰か
に荷物の事を賴まうと思つて、大きな聲で誰か英語
の話せる人はないかと大聲に呼ばはりますと、恐ろ
しさうな顏付の男が來て漸く英語が通じて、荷物を
巴里の驛まで送るから安心して汽車に乘る樣にと云
はれ、私共一行は不安を懷き乍ら巴里に着き豫定通
りに旅館に着きました。顧るに私共はをかしな經驗
をしては居らぬでせうか。案內者があつたでせうか
今考へれば笑止ですが其時は實に恐ろしくなつてし

に案内者を見出す事が出來るのであります。吾々の境遇に應じて吾々を導き給ふのであり吾々の故郷は同じでありますが登る可き人生は色々異なつて居ります。基督は人により異道に導き給ふのであります。

が足を滑らして沼地に落ちた時、其處を衣を裳を持つた人が側を通つて、其人を見て因果の報だ、實に氣の毒だと云つて通り過ぎた家に歸る道は見えて居るが、助けて上げて呉ない。又人が通りかゝつて「何とした人だあるのに、こんな道を通つた、これは獸道でと云つて又通り過ぎた。もう致方がないと諦め時に、若い男が大工の道具を擔いで來た。ら「助けて呉れ」ないかと、迚も助けてはと思ひながら聲をかけると、其男は大工の

佛道で因果應報慈悲を解き、次は儒道で天道を解

最後のは疑もなく基督でありました。

日露戰爭の時に兩眼を失つた方がありました。

さんはどう慰めてよいかと考へた擧句自分自身一二夜眼を縛つて、盲目者の經驗をした後、幾分かを慰め得たと云はれました。或日其の夫人が失明の夫を連れてある會に出られました。そして一々良人に會の樣子を說明されて居るのを私は後から見て居つて實に淚をおさへたのでありました。之は一つの小さい例で盲目の夫に對して忠實なる妻の爲した事でありますが、基督は佛道でも儒道でも助け得なかつた人を導き給ひました、實に吾々が惑ふ道を手を曳いて案內して下さいました。この基督を私共は案內者として受入れねばなりませぬ。

（婦人傳道會社大會にて　在文實記者）

米國の民本主義

田島進

戰爭に參加してから、他の國では大抵三十らねば出來ぬ事柄を一年間にやりぬいたのそれで今我々が擧國一致の精神を目前に見國であらうと思ふ。

國一致かと云ふと苦しむものが、上流、中層と階級に依つて異なるのでなく、上下お苦樂を共にして居るのである。これは米國以て働くのでも何でもなく、再びこの戰をらせぬ樣にとの遠大の思想を以つて戰つてある。而してこの思想が男子よりも寧ろ婦多く徹底して居るのではないかと思ふ。現は大抵は女子大學を卒業して居られるのでても、思想に於ても實に立派なもので、是あり、同情ある婦人が國家の爲に盡されてける婦人の敎育は所謂良妻賢母を以て當塡めるのは不道理であると深く感じた。

米國には石炭が非常に缺乏して居る、私の居つたのは隨分大きなアパートメントであるが其何十軒の家族の居る處に火の氣がない。所が紐育は數十年來の寒さであるに、何の不平も云はず、嫌な顏もして居らぬ。この泰然自若とした樣子を見た時に、實に感服したのである。そして幾度か我同胞と比べて見ざるを得なかつた。又甘んじて黑パンを食して居る。私は勝手向の事は一向に解らぬから、何と何と混じてあるのか其製法は知らぬが、日本で云ふと丁度南京米に稗を入れた樣なものである。私が曾て或家庭に招かれて行つた時、三歲程になる小兒がどうしても黑パンを食す事を嫌つた。母は或時この小兒

い小兒もこの通りである。又最も善い大學で教育を受けた妙齡の婦人が、佛國に渡り聯合に働いて居る精神に於ては、私は我國に斯るないと云ふのではないが、是等の婦人を見て堪へなかつた。

をして四十年間準備せし獨逸國に對し、今日へさせたのは佛蘭西の國でなく佛蘭西の母で云ふ事を佛人より聞くであらう。日露戰爭のする息子を送る時、その母は戰場にあつて心ない樣に自害をしたと云ふ話を聞いて、私は外國にほこる事の出來る事が二つあると思つつは日本の美術であり、一つは日本の母であつた。所が今私はそれをお預けしなければななつた。或日佛蘭西の某驛から、軍用列車のに一人の婦人が列車の中に入り、非常に元氣征する兵士をはげまして居つたが、愈々列車

に戰死し一人殘つた一粒種の息子を送つたので、今迄忍耐して居つた悲哀の情が一時に迸つたのであつた。これは一例に過ぎぬが、我婦人のみ犧牲の精神の專有物であると思つたのは間違であつた。

米國は或意味に於て、俠氣の國である。少し郊外に出ると見渡す限り青麥の畑があるにも拘らず、麥を節約して聯合軍に送るその精神は感激の他ない。又或學校で寄附金を集めた時に、學生がアルメニヤの爲に三千圓を、日本と印度に傳道に來て居る人に四千圓を寄附した。或學生は食料品を節約し、洗濯賃を儉約して五十圓を寄附した。實に犧牲獻身の精神である。

斯くの如く公共心の發達して居るのは、ウイルソン時代のデモクラシーの考からである。米國のデモクラシーとは日本で民主民本と云ふ樣な小さなものではない、實に遠大なる大精神の上にたつて居るの

これは獨逸のクルブルに對する言葉で、即國程立派な文化をもつた國はないと思つてが、武器に訴へても從へると云ふ主義が獨ブルである。米國のデモクラシーは之に對葉である。このデモクラシーなる意は世界の様なものである以上、共に助けて再び世などを起さぬ様にと云ふが米國のデモクラる。實に米國がウヰルソン氏に依つてこの供せられ、基督の教訓に基づける理解ありこの精神は日本人が學ばねばならぬ。今度度日本を救ふには、實に基督教でなくては思つた。若し自分の見聞に誤りないとする誤りないと信ずるが、どうしても基督教にならぬと思ふ日本の家庭の爲、日本の國家日本國の爲のみならず、東洋の前途の爲にも基督を信仰していたゞき度いと思ふ。

（在文責記者）

個人消息（一）

○日本基督教女子青年會幹事　河井道子、東京市部幹事加藤高子の兩女史は出征軍人、浦鹽にある日本婦人、チエック罹災民の狀態視察の爲十二日敦賀出帆浦鹽に向はれたるが、十一月二　無事歸朝されたり。

○横山まつ子。小山紡績工場に働くゝ同姉は十日初東京女子青年會を訪問さる。

○加藤てつ子。北海道北星女學校教師たる同姉は北星園醫科に入れり。

○ミス、マギー。東京青年會にてピアノを教授されし同姉は十三日出帆の春洋丸にて歸米す。

○三好まつ子。大連日本基督教會三好牧師の夫人なる同姉は日本基督教婦人會大會の爲上京され本會を訪問されたり。

○林あき子。大阪プール女學校を辭され目下青年會本部にて事務を補佐し青年會事業研究中。

○細谷姉。今回横濱實科高等女學校を辭し仙臺の縣立高等女學校に赴任さる、同氏の御家族仙臺市にあるを以て御双方の爲喜ばしき事なり。

○ミス、マシウ。十月二十七日夜西伯利より一先づ歸朝さる。

○元良米子刀自。九州の令息令孃訪問さるゝ爲九月末彼地に向はれ來春迄滯在さるゝ由。

○藤野清子。女子英學塾を辭し路加病院に看護婦として入られたり教育ある婦人が斯る事業に身を投ずるは、婦人の置位を高むる一歩

理に何等でも宜しいからと、押掛て申込で所があると九日に返電があつたので、十一日時に東京驛を出發した。東京女子靑年會の幹事も俄に同行と定まり、九日に旅劵願で大阪商船會社に無理に申込んで切符を求日一緒に出立となつた。雨中を志立夫人や先生や其他靑年會に關係の姉妹方が卅餘名送りをされたのには、恐縮の他なかつた。へ出立するにも送迎などは辭退してコツコる自分に取つては、僅に三日で行ける浦鹽里の航海でもする樣に見送られたのは妙でが、是は加藤姉のお見送りであつたのであで氣がつき自分もお蔭を蒙つたのである。人が特別浦鹽に視察に出掛けるのは之が始であるが、新聞社で我等の出立間際迄知ら

問を射るやら、寫眞を撮るやらで、マグネシウムで眼が妙に霞んでしまつた。發車すると品川で東京朝日の記者が飛び込み横濱迄隨行、途中で又マグネシウムの火攻めに遭つた。別に慰問などの大袈裟の大責任でなく、只見學ですと皆に返事しても、何か隱して居る樣に問詰めらるゝも嗤笑千萬。

十二日午前十時半に敦賀に到着。空高く水蒼き風景は東京の雨を忘れさせて心地よく、行先に祝福ありと語る思ひがされた。本部に集り來りし洋服の古着やら横濱英和女學校先着の慰問品と東京支部の人人の製した人形等の二行李は少しも敦賀で開かれずして稅關を通つた。午後四時出帆に少々時があるので、買物と中食の爲加藤氏と共に町に出かけたが、どうしても敦賀は漁村で俄に繁昌した土地の樣に見える。海に流込む幅狹き川の片岸には露國邊から來

竪にしたのが堆高く積まれて、川には處狹
舟が忙しげに動いて居る。名物の豆落雁の
海岸の側に干してあるなどが一番目に付い
ホテルと云ふのが良いと教へられて、其處
したが、此他に旅舘らしい家は見付かりも
た。午後二時過迄手紙を書いて宿を出で、
地圖を求めて乘船したが、加藤氏の室には
二人の赤子と女中を伴れ、他に男子が一人
は男子二人とボーイが云ふから、其なら男
の室に入れ、河井を其處に入れると、女連
れで正當であると申込めばボーイは困りま
男子の方が高等官でいられまして、お願ひ
が、上部の寢臺が嫌だとて御承諾になりま
社の方にも其を申して何とかして貰ひ度い
したが、お客同士で御都合を計つて頂き度
すゆゑ貴女からお話し下さい」との事、如
官だからと云ふて、婦人の室に一人這入つ

事斯る事に注意を拂ふ可きである、又女子の方で男子の室に居るは、彼等自身には何事もなくとも惡風俗を助長する次第故是非止めさせるが高等官とも云はるゝ人、しかも風俗矯正の部に責任ある官位を帶びた身分なら尙更强固に主張すべきだのに、此官吏はたゞ自身が上部の床がいやだからと云ふ一點で、此風俗に關する事柄を平氣に捨て置くとは餘り大人氣がないのと、一には日本人一般が斯くもお互に利己であると思ひ悲しくなつた。氣樂な點から云へば男子二人の中に居る方が、赤子二人泣く室よりも遙によいけれど、其は決して女として成す可きでないから、若し高等官が代るのが厭だと云はれるならば食堂にでも寢る氣で、直接に室の交換を申出たが矢張りお厭らしいので其ならば無理にはお願ひ申しませんとて退去して甲板に居ると、ボーイが來てお替りなさる事になりましたと報知して呉れた時は別に嬉しくも思はなかつた。どうしても日本上下階級共

は出來ない。又外國人が此等の點からも日
道德觀念の缺乏した國民と見做し、終には侮
であるから、僅の事柄に見える這麼事を注
はならぬと思ふた。

丸は二時間後れて午後六時に出帆した。前日
尾が沖を騒がせた爲、其夜は乗客一同弱ら
翌日も元氣のない顔が甲板に揃つた。加藤
、元氣がぬけて、終日横になつたきりである
夫人も女中も可愛らしい二つの雛ちやんも酔
船の毒であつた。只半年位の坊ちやんが床に
した儘でニコ／＼して居るのが物淋しげに見
方には穏かになつて新月が秋の清らけさを告
日の日の出は我等を露國に歡迎した。午前
は既に陸が淡い墨繪の樣に見え出し、十時頃
砲臺が秋色豊な山の端に鮮に見え、十二時
陸と云ふ良き航海であつた。

い。美しくないのは埠頭に立てる混沌たる雜人種で
ある。併興味のある事は比類あるまい、第一に船の
梯子の上段に露兵、日本兵、米國兵が出入の者を誰
何するは確に戰時と思はせる。船から出て足を陸地
につけるや、我々も混沓たる群衆の分子となる。邊
を見渡すと、米國赤十字社や青年會の制服着けた人
人彼等と擦合つて、弊衣臭氣の支那人と朝鮮人の勞
働者、其隣には日本軍人とチェック軍人とが人待顔
に上を見て居る。其中を上手に避難民の子女とも見
える者共が潜り歩く、此混雜の中をコサックの帽子
に赤袖で黒の胴を色の布で巻いた鬚だらけの恐ろし
い馭者が、露國固有の二頭馬車に客を待つと、新式
の自働車が其前後にある。誰迎ふるともなき遊民
が大勢見物してをる。其中を萬緑叢中紅一點とも云
ふ如くに、和服の日本婦人がなか／＼目立つて人の
注意を引く。

其他數人の出迎を受けて　我等二人は赤十字社の大な自働車に乘り、荷物は係の者に頼りで、恰も貴婦人の如くに群衆を拂退けて導かれたのは、米國赤十字社本部である。活動寫眞館に隣した、大通に面してゐる大一階である。聞く處によると、此も矢張り使用された室とかで、其俤とも云ふ可き樣にあり、安ぽい繪で其邊が飾られて居る。入口を直してゐるので、如何にも近頃大急ぎ移轉したと云ふ事がわかる。此大廣間にはを三十臺程配置されて、各卓上にタイプラ据ゑてあり、椅子が一二脚其附屬として置宛然米國あたりの大な商會の事務所であ、マシウの卓の側に我等一行は暫時休みてに於ける活動と事務を鞅掌する各人物に付きペトログラードに貿易會社を持つて居た主の鑛山の支配人をしてゐた技師或は屈指の

然たらざるを得ない婦人中には醫師、簿記係、食料品係、通信係等が各自の机上で熱心に執務して居つた。一人の支那婦人がタイプライターで忙しく見えたが、彼女は上海の醫學校から米國の醫師二名に伴はれて援助に浦鹽迄來た一行十數人の一人と聞いた午後一時過ぎミス、マシウや其他の人々の宿所に伴はれたが、此處には赤十字社關係の二十名近くが雜居であつて、我等二人も又其應接間を夜分丈寢室として借りるのである。浦鹽に來る者が困るのは第一に宿であるとか誰でも云ふが我等はかく最初から、斯るよき場所に宿泊する便宜を與へられたのは感謝である。

午後早速自働車を馳せ、二番側と云ふ處にある煉瓦造の兵營に伴はれた。此處は赤十字社委員が非常なる苦心と勞力とを以て市より借り受けた處で、其處にアルミニア人やユダヤ人其他の避難民を收容する事に當ることになつた。一體浦鹽全體に數知れぬ

ので、何れの兵舎も空となつた後へ聯合軍がのである。しかし未多くの兵營が空虛となつ爲、市の貧民浮浪者が勝手次第に之に住つてもあり、又は全く放棄された儘のもある。其の赤十字社委員が修繕をして電氣をひき窓を暖爐を置き、家具を整へて避難民を容れる事た。我等の見た兵舎は五棟あつて、一棟が普間に奧行五間位の建物であり、一棟は臺所と當てゝあつたが、臺所の暖爐の大いのは三疊もので、何もかも大仕掛に驚かざるを得ない營側の營舍に止まり、既に避難民を容れん許及され　處を見たが、行屆いて居るに感じたる。夕方は其處を立ち出で次の建物の側を通團の日本兵が水溜に辨當箱を洗つて居たのに行て挨拶をすると、藪から棒が出たと云ふ

た返事をされたは面白き經驗の一である。兵士は市街に於ても、又營舍に於ても皆整然として彼等の服裝も風姿も亂れぬ事は非常に喜ばしく思はれた。聯合軍の兵士は何れを見ても皆青年に見えた。斯る將來有望なる者共が殘酷にも一彈の下に斃れるのは實に無駄と殘酷の極である。

翌日ミス、フォンダに伴はれ、赤十字事務所に行つて見た所が、其處には避難民の身元調査をするので、ミス、フォンダの下に二人の婦人と二人の男子とが各國語を語つて入り來る避難民と應對して居る此處に來て食物の切符を貰ふやら、病人のあるを訴へるやら、隣室にて應急手當を受くる者、又後より巡回看護婦を送らるゝ者、衣服の缺乏を訴へて助を乞ふ者、或は職業を依頼する者等、小さな事務所に群をなして居る、係員の一人なる婦人はセルビヤ人

實業家であつたさうだ。一同昨年浦鹽に避難した。此婦人は數ケ國語り、又教養ある人である。婦人の側に七愛らしき女兒が居つたので、吾々の持つて人形の一番美しいのと、絹布の手提と、豆「日本の青年會の人からです」と云つて渡し子供の嬉しさうな顏は到底忘れる事が出來五十前後の一男子が今度家族全體を連れてくのであるとて、旅行免狀などを見て歡喜て居るので、取敢ず又日本の人形を二包子りなさいと云つて渡せば、彼は幾度か謝意其人形を大事さうに抱いて居つたのも、讀せ度い。

ら子夫人より、暖い新古の男子洋服を幾着行たが、それは又實に適當なる方法で一つ用されたのである。是等は餘り善いのであ知識階級の人で被服に困つて居るが、之を

も云へぬ喜びを彼等に與へた。面白い事は十五歲の男子が來た。彼は兩親共死し、兄を賴つて米國に行たが宿所を知らざる爲、米國移民局より還送されたと云ふので、今浦鹽の新聞賣子になつて居るが、冬がきても着物がないので、新聞社の紹介狀を持つてミス、フオンダの事務所に助けを乞ひに來たが、幸ひ齋藤夫人より戴いた曉星學校の古い制服があつたので其を着せた處が、彼は胸に光る釦鈕の嬉しさに行、丈の短いのには氣が附かず、意氣揚々として其處を出ていつたのである。斯く吾々が送る品は一つとして利用されないものはない。之より嚴寒零度何十度となる場合に、どうしても暖いものを澤山送る必要があらう。

次に行たのは停車場である。之は立派なのもて外から見るとどうしても中に多くの汚い人々が寢轉んで居るなどとは思はれない。入口には日本兵、米國兵、チエック兵が一人づゝ護衞して居る。往來する

…一種の不潔の臭氣が
ゝし、床には塵埃が堆積して何時掃除したか
い。待合室廊下何の區別なく荷物と人とがご
し、犬と小兒が群がる蠅の中に戯れ遊んで居
う人の路は全くないと云ふ狀態で、迚も停車
思はれない。遠方から浦鹽へ來た避難民が、
し停車場を住居として居るのである。線路に
何百何千と云ふ貨車が大概は兵士又は避難民
し化して居る。一貨車中に三四家族づゝ住ん
附近の汚い事は到底述べ盡し難い。不思議な
は何處の停車場でも煮た湯を幾何でも貰ふ事
る組織になつて居るから、是等の避難民は其
湯を貰ふて炊事の用に當てゝ居る。浦鹽邊に
…と云ふ事は住民を苦しめる第一であらう。
これには一番苦痛を感じた、洗面水でも餘程
…はねばならず、其上硬水なるが爲、石鹼は

せて…濁つて居るので心持が惡い。其樣な次第故
なして貨車に生活する者共が清潔にして居られる筈
はない。貨車の中に青年會の印のあるのがあつたか
ら其所を訪ねると、それは米國幹事の住居であつた
これは又內部は立派なもので、椅子、テーブル充分
に備付てあり、寢室もあり、食堂もある。事務室に
は地圖を壁一面に掛け、蓄音器は隅にあつて如何に
も心地よい。此處に居るモランと云ふ幹事が中々の
露國通で、今日の西伯利狀態につき如何にも明瞭な
說明を與へられた。其他日本赤十字社の旗の附いた
貨車もあれば、米國赤十字の旗の附いた貨車、チエ
ックの青年會の印の附いたのもあるし、又兵士が宿
泊する貨車も何十臺と續いて居つた、この光景は確
かに戰地でなければ見る事が出來ない。
青年會のハットに行つた、ハットとは英語で小屋
の意味であるが、歐米諸國に於ける兵士の集合する

浦鹽にある一大倉庫を之に當てゝある。亞鉛張りが、裕に二十五間餘に十間の建物であつてして一部は青年會の倉庫、中央部は目下其し他の一部を修繕中にて其處を純然たる倶の計畫中である。其が出來上れば其れに凡を移し、今使用しつゝある場所を體操場にである。このハットの中を一言說明して見口に印度人の巡査が立つて居つて、出入す護して居る、內部は右方の壁に四間に二間四方の歐洲の地圖が掛つて居る。これはチが書いたものと說明された。この圖の下にが一面に釘にかけてあつて、空いて居る場イルソンの繪が聯合軍の繪で圍繞され、其戰場の日々の報告がタイプライターで揭示る。その壁に對した向側には色々の格言をし、例へば「徒費をせず家に送金せよ」とか

警句金言が貼付けてあり、又「露語を學ばんと思ふ者は此處に來れ」と鮮やかに遠くから讀まれる。此邊を聯合軍の旗が彩色して居る。今一方の壁はプラットホームになつて居つて、其處にピアノが据付あり時時其處から樂隊、音樂會など演奏される樣に準備されて居る。これに面した側には帳場臺がぐるりと四五間許りを圍んで、其處に數人の婦人と男子の幹事とが、茶、菓子、チヨコレート、煙草(止を得ず)を軍人に供給して居る。其處は何時も買手が黑山の樣に蝟集して居る。其處で茶や菓子を買ひ、今度は室一面に配置してあるテーブルに持つて來て、各國の軍人が樂しげに飲食して居る樣は、他に見られない室の中央には又帳場臺がぐるりとあり其處に數名の幹事が絕えず兩替やら電話の世話、又青年會の印の附いて居る用箋を軍人達に絕えず與へて居る。其他玉突臺が二臺あつて殆んど空いて居る時がない樣に彼等は交り〲此處に居る。又隅の方では將棋をさ

員があり、日曜日には夕拜がある。其處に居る人等に經驗を聞くならば、實に一卷の書物を作り出來ると思ふ。日本兵は此處に出入するのはときいた。その理由は彼等の多くは衞兵として其義務をおはせられ、彼等を成可く外出さして營舍に居らしむるのが、日本軍隊の方針で將校の一人が語つた。米國の兵士は割合に仕來ず、其上彼等は日本兵の一日拾錢位の手當ては、非常に給料がよいから金遣もあらく、又は社交的の事を好むので外出を自由にされるときいた。而し夜は七時には皆營舍に歸る規る。彼等は皆鬚を剃り髮を梳り、服裝を整へて居る事は衆人の注意を惹くと新聞記者などたが實際である。チエック兵士は青年會のハ多く出入する。彼等の品行方正の事は皆が知つて、深き尊敬を受けて居る樣である。近頃らは軍用金を、米國からは被服を受けて居るチエック兵は確かに世界の同情を集めて居ると云ふ可きであらう。近頃ウイルソン氏自身が彼等の爲に五百萬弗を與へ、又西伯利の某所を占領して六十億ルーブルの金貨を得たと新聞は報道するからチエック兵は之より戰鬪力をも增して、彼等の目的を達する日が近いだらう。

日本赤十字病院

軍隊慰問の內藤隆行氏に導かれて、軍司令部を訪問した。副官に會ひ吾々婦人二人の到着につき其事情を述べ、又視察の便宜を問ふた處、非常に鄭重なる配慮を得て、自働車を數時間貸し與へられ、副官の先導にて日本赤十字病院と、一番大きな日本兵營と野戰病院とを訪問する機會を得た。赤十字病院は浦鹽のはづれにあつて、眺望如何にも麗はしく、前に海を眺めた小山の頂上に幾棟となく建てられた

所有して居る。之より冬になれば寒氣は市街であらうと思はれる程、今より風當りがである。石川千尋理事長が親しく吾等を迎から看護婦部屋等を案内された。此處にはエック兵のみにて、日本兵などは一人も居富士見町教會に出入さるゝ山川婦長も歡迎病兵の狀態なども委しく伺ふ事が出來た。なのは言語の通ぜぬ事、英佛語は通ぜず、獨逸語第二と云ふ位である。通譯官も數別に診察等には不自由もないが平素彼等に不便を感ずるとは尤の事である。中に語を話す病兵があつたので、聞いて見るの醫師、看護婦の親切を感謝し、何も不足て居つた。病兵中或者は書物を讀み、或集まつて話をしたり、將棋をさしたりし樂しさうに見えた。石川理事の云はるゝば日本から子供の用ふ繪本を送つて欲し

を習ひ、吾等はそれで會話をし又彼等の無聊を慰める事が出來るさうである。

二度目に病院を訪問した時は、脇、森、兩夫人を伴ひ、降誕祭などの飾付手傳の出來るやうな途を開き、又看護婦に暇のある時は兩姉の家に來り心身の保養を得らるゝ樣紹介し得たのも嬉い事であつた。

日本兵營

日本兵士の狀態を知る爲兵營に行つた。大隊長、中隊長などに紹介され、兵士の部屋、彼等の日常生活等を親しく見る事が出來た。既に防寒具は一般に行渡つて居る樣で。この點に於ては日本から今の處個人が態々送らるゝ必要はなからうと云はれた。而し新聞雜誌、善い書物は慥かに歡迎され、又手紙の材料はどの兵士も缺乏して居る。一兵士は來た當時葉書が五枚渡つたきりと云ふて紙料が欲しいと述べた。兵士は暇があれば、手紙を書き、又國から手紙の來るのを此上もない樂しみとして居る。是非とも

十錢と云ふ相場の土地では、何も買へないのであらう。して見ると必要品を容れた慰問袋に歡迎される事は疑もない。兵士の食物等に聞いたが之も日本に居る時より、良い物を食るさうであるが冬籠になればどうなるものか思はれる。病人は重に脚氣、肺炎、神經痛、フス等が多數を占め、負傷兵等は少ないのでこれより冬中は休戰で何も働く事がない時に無聊を慰める途を考へねば恐るべき弊害が其るであらう。この場合適當なる讀物を與へ、兵舍内に青年會が活動を初めて、彼等を慰藉する事は焦眉の急務であらう。是非とも是等なる事業を繼續し得る資金が、一日も早く與た事を、一同が祈り努力すべきである。

赤國米十字病院

赤十字社經營の病院は露西亞島と云ふ小島に丘は砲臺に極適當な場所で、漁民の爲に建てられたグリーキ教會堂もあり、小さな燈明臺が水際にあるなど、雅致に富んだ島である。病院はさつぱりした白亞造りの二棟であるが、今一棟至急に建築中である。此處にチエツク、英國、佛國の病兵が收容され東京聖路加病院の看護婦十數名、上海より數名、米國より數名、露國看護婦二名で全部を預つて居る。設備などの行届いて居る事、室内の清潔、看護婦の親切などはどれ程病兵を喜ばせるだらう。チエツクは日本語研究中で、どの室に入つても「今日ハ、サヨナラ」をあびせかけられ、訪問者は却て閉口した一人の病兵が進み出て「日本ミカド、サクラビール、タバコアリガタウ」は奇拔であつた。快方に赴きつゝある兵士共は食堂に集まり、樂しげに會食し我等參觀人が戸を開けるや欣然として挨拶し訪問者の來るを喜ぶやうに見えた。廊下にはテイポラリーを

…夕空晴れて」の唱歌を覺束なくも唱し、興をそへた。兎角各國人種が集まり、も他國人と比較される事故苦勞も多くある奬勵や實驗に富む機會も多いであらう。した時は數名が風邪で、次回には二名の看チフスで危篤ときゝ氣の毒であつた。三回になつた爲船を待つ間夕食の御馳走になる遠方にあり外國人を看護しつゝ如何にもるに拘らず皆顏色麗はしく、元氣旺盛に其い樣子であつた。只病氣の姉妹方はお氣のも早く平癒を祈る他ない。もし吾等の姉妹人の爲浦鹽市内に何か休養所でも出來たら彼等の勞を慰する事が出來るであらうと思

日本婦人と子供

往中聞いた事で參考になる事を一束にしてば、第一在留民中目立つ者は賤業婦であ

公娼、私娼の二つに分れて居る。是等の事を委しく調査する時間は持たなかつたが只一度彼等の居る場所を見に行つたが、亞鉛張りの見る陰もない家がズラリと並び、吾等一行を窓より戸口より多くの女が眺めて居つた事と、日本兵や外國兵が其家に出入するのを見て、身を切られる樣に苦しく感じた印象を持つて居る。其家の一軒に石戸氏が吾等を紹介した此樓の主人は昔青物店をして居つて正直な人であつたが、斯る仕事をする樣になつてから、恥しいと云ふ事で石戸氏の許にも來なくなつたと云ふ人であるが、其人の家で「此の方は基督教女子青年會の幹事で、今度態々東京から當地の事を視察にいらしつたから一寸見せて貰ひます」と云つて、紹介された時は何とも云へぬ妙な感がして、家の中を見る所ではない。這入つて直飛出した程であつた。又支那人などの合宿して居る裏町にも一寸案内されたが、同胞婦人の有樣をほの見た丈でも汗が脊を濕し、如何に

業婦として世界に知られて居るが故に、有力
人が少數出ても、世界は之に由つて日本婦人
者と認めない事を記憶して貰ひ度い。
日本の子供に惡いのが多くあるとの事である
が知識階級の者でなく、又宗敎心の缺けたも
るから、其子が只支那人、露人の惡い所を益
ふと云ふのであらう。親が煙草を子供に賣ら
許の口錢をやると買食を初める、或は人の家
付いて居る鐵を一寸盜んでは買食をすると云
と、親が平氣で見て居ると云ふ事もあるとか
又在留民で公共の事業に散財するなど云ふ
かない。只常磐と云ふ日本料理店にあいまい
婦人が澤山居つて、每月何十萬ルーブルの金
に轉げ落ちると云ふ事である。
の空氣は到る處に潜在して居る。今日は政事
樣で日本人は歡迎されて居るが、人民として

云ふ事に齷齪として居ると云ふ事と、今度の出兵
主義でなく、結局利益問題ではないかと云ふ樣に
はれて居る。物に熱し又冷め易い露人とは云へ、
露戰爭の事を全く忘れては居らぬから、猜疑の念を
懷いてゐるのも當然の事であらう。其處へ面白から
ぬ日本人が大勢入り込んで、利己我利の外考の
い事を暴露して居るならば、排日思想は止を得ない
事ではあるまいかしら、浦鹽日刊など新しい新聞
が調子が甚だ低い。餘り下らぬ事を掲示するので、
社會の調子の低いのを現はし、又之を奬勵する樣で
あるとも聞いた。而し又露人の中でも日本に對し
意をもつて居る者もあるに相違ない。一例を擧げれ
ば露人で新敎信者の集會に列席したが、小さな家の
樓上で老若男女共に跪き、熱心なる祈を捧げ讃美
きランプの下に司會者が奬勵をして居る樣など、ど
うしてもクォバディスにある使徒時代の集會を思出

に居れなかつた。この集會に於て短き挨拶を
一婦人に招かれその家にて茶を頂いたが、互に言葉は通ぜずとも全く神の許に連なれあるとの感がじた。

基督信者たるものは、人種の如何を問はず、意を持ち、相助け相愛する事が出來ると云かに事實が證明して居る。要するにどの様も基督を離れては解決出來ないもので、基彼に由つて一つの幹に連らなれば、確によばれる。社會の改善世界の改造或は家庭の、總てが基督を中心としない限りは、爲しのでないと深く信ずるので、今回の世界に戰爭の成行、米國大統領ウイルソン氏の教書の正義人道の觀念の根本は確かに基督に於たと云はねばなるまい。故に吾等は恐ろしにも神なしでは新しき天地の改造はされな措いて他に賴る國や家は亡ぶると云ふ事を

精神を益々發揮して力の限り世界と共に苦しみ世界と共に働き、世界の進歩を換言すれば御心の天に成るが如く地にも行はせ給へと吾等の力限りを盡す時が來たのである。

（以下次號）

□慰問品に就いて

西伯利の兵士及避難民に送る可き品には、兵士には、新聞、雜誌、書物、封筒用箋、日用品を入れし慰問袋、繪葉書（讀者自筆のもの結構なり）

チエツク病兵には、小供の繪草紙、小供の雜誌、之は繪に由つて日本語を稽古し、又彼等の無聊を慰めるに至極適當なり。又假名にて認めし見舞の葉書。

避難民には、毛布類、防寒具、赤兒の着物特に下着小供の靴下、手袋、玩弄品等。而て是等は既に集まりしを以て、寧ろ紙、鉛筆、繪本等の方よろしく、成可く降誕祭に間に合ふ様に先方に届け度き所存故

を旅行しても何時も親切に會ひますとは河
が始終仰せらるゝ御言葉ですが、今度の旅行
る實驗をして感謝の至りです。殊に信仰を同
る友人に出逢ふ時は、新舊の區別なく親しみ
とを以て御親切を受けますので全く旅の不安
一掃されてしまひます。此所に是非〳〵御紹
げたいのは石戸義一氏と申して露國に居らる
十年餘、所謂ロシヤ通！　今は浦鹽に於て貸
汽船事業等多方面に活動せらるゝ實業家です
かも熱心な信仰を有する兄弟です。本年四月
に於ける三人の日本人が殺害されたと云ふ當
況が引續き新聞紙に掲載されたのを皆樣御記
う。この兇行の翌日、日本軍が上陸してそれ
軍の西伯利に入る出始めとなつたのです。
遭難されたは石戸義一氏と彼の弟と甥とであ
た。弟君は直に死去されましたが、石戸氏と

其甥とは九死に一生を得たと云ふので　今日は快復
されて種々の方面に浦鹽に於て活動中であります。
一夜石戸氏訪問され其時の光景を語られましたが、
茲にそれを略記して見ませう。

兇行の朝十時頃に來客があつて、甥が戸を明けた
處が直ちに一人の露人が彼に飛びつき、ピストルを
頭にあてて聲をたてれば生命はないぞと彼を脅迫して
放さず、一人は一寸這入つて又外に出たさうです。
後で考へると外で番をして居つたらしかつたそうで
す。すると平服を着けた二露人が這入つて來て、用事
を聞くと彼等は誠に靜然たる樣子で米を貨車に二臺
程日本から買ひ度いから其取引を依頼すると云ひ、
段々話を進めて居ると、矢庭に二人が起立したので
石戸氏も立たれたそうです。而し何も彼等に殺氣が
あるとは氣が附かれず、歸る挨拶かと思ふと一人が
ヅカ〳〵と近寄り、ピストルの引金をはなさうとす

頭をそむけた時に、丸は頬に當つて突又一發今度は頸から射られて顋に當り、そめいて倒れかゝり一人の露人のコートにすれを盾に次の丸をさけ様とした刹那第三發胴を射たが、不思議にも懷中にあつた銀貨丸をくい止めたとの事です。而し丸の強い力と床に倒れ、そのうち隣室にて弟は射殺は賊の逃げる間際に斃され、石戸氏は全くには陷らず、倒れ乍らも如何にかして己の者なる事をしめして世を去らんと思はれ、以て床に大文字で「神よ」と書いて後に水溜の中に倒れられるとやがて人の足音がしたが來た事と思つて、靜かにして居ると日本誰がやつたと云ふので、答へ様とすると頬皆こはされたので口は元よりきく事出來ずに「露兵」、「ピストル」と書いたと云はれ、を見せられた時はソット致しました。直に

教主義で葬式をされたと云ふ珍らしい實例を伺ひました。石戸氏は誰をもうらまず、斯る遭難が日本人にうちかゝるものならば信者であつた吾身にふりかゝつた事は非常な喜びであると話されました。彼は益々信仰を高め、又在留人の中にも深く敬意を拂はれ、又露人間にも信用厚くなられたとの事であります。目下令妹森夫人が來て家事の世話をされて居りますが、吾々二人は絶えずこの一家にて日本の食事や市内の案内等の御世話になつた次第であります。此處に又脇深文同夫人みさ子も眞に熱心なる基督信者で、石戸家とは深き仲柄で吾等は脇氏方でも非常なお世話を受けたのであります一度食事に招かうと云はれたので、此方から手鍋をお願した處がそれはお易い事とて、日本の牛鍋以上に結構の材料を集めて吾々を喜ばせられました。」浦鹽でお豆腐、松茸は實に珍らしいのです。牛肉の風味は到底日本の牛肉の及ぶ處ではありませぬ。

家は必ず一致會を建て樣との希望で、既に集
そうです。必ず神がその努力を嘉し、豫期以
、與へ給ふ事を信じて疑ひません。石戸氏は
爲に屢々自働車を貸し與へられし事は、どれ
の爲になつたか云ひ知れませぬ、何も言葉は
自働車など數少なくて需要の多い今日、勝手
乘り廻す樣な資力はない我々は、同氏の好意
近を問はず、出掛ける事が出來ました。
所に是非書きまして皆樣にお喜び願ひ度い事
共の爲に浦鹽總領事菊地御夫婦が茶話會を領
美しい應接間にてお開き下さいました。實に
多端の際、此の樣なお催しをお計ひ下さいま
を深く感謝致しました。當日は四時頃から日
男女、日本及び米國赤十字社病院にお働きの
米國總領事御夫婦、男子青年會幹事八九名、
人篤志看護婦の奥樣方、ロシヤの男女數名等

御馳走の上、領事夫人の御心入りの御手製のおすし
が出ましたので、初めての者は大悦びにて頂き、又
あゝなつかしいと云ふて手に取られし西洋婦人も澤
山ありました。それから出席のロシヤ人等の合唱二
三種あつて一層の親しさを與へました。唯殘念なの
は一言も言葉を解し得られません事でしたが美しき
聲は何處も同じくうれしきものでした。然るに電燈
が突然消えてしまいましたので大笑ひ、これは浦鹽
名物の一つですと。直ぐ領事夫人の御準備にてキヤ
ンドルがつきましたが一層部屋は美しくなりました
或實業をなさる一紳士曰く、來浦以來この樣なイン
ターナショナルの催にて和氣滿々たる樂しさを經驗
した事がなかつた實に愉快でしたと大滿足と感謝し
て歸途につかれました。私共も色々な方々とお目に
かゝり此の午後樂しくさせて頂きました事を深く感
謝して居ります。

軍隊慰問募金に就て

外は今や生の苦をなして改造されつゝありま
軍が正義、人道のために戰ひつゝあるは、
感謝する處であります。一方ではかく武力
全世界から戰爭をなくなすために戰かって
、又一方では平和な手段にて戰爭を早くな
して、樣々の方法を講じて居ります。其一
ると、赤十字社の病傷兵の世話、避難民の
兒の養育等であります。歐米聯合國に於け
問事業等は大々的規模で、大概は宗教團體
居ります。其中でも男女青年會は殊に此事
に非常なる活動であります。目下西伯利の
十二名の米國幹事が、軍隊の中にて慰問の
し、益々其數を增加しつゝあります。彼等
區別なく、兵士間に働きます。日本の青年

どに於て間接直接兵士のため、彼等の家庭のため、戰爭から起る特種の事業に働く人々のため、戰時が湧出だす社會問題等に全力を注いで奉仕の實を擧げてゐます。其で今度米國に於ける七團體が軍隊慰問事業のため一億七千萬弗餘の募金をすることになりました。其金は勿論聯合與國のために使用されますので、日本にも其募金の手傳をする樣にとてウイルソン大統領より親翰を寄せられたので我國でも貴顯の方々が左記趣意書の如き協賛會を組織された事は感謝の至りであります。私共女子青年會はこの大規模の募金には參加しませんが早晩西伯利に活動せんとして居ります。それには資金を要する事でありますから青年會員もこの世界的大活動の爲御援助あらん事を希望致します。

一、ウイルソン大統領の親翰

日尠からず考慮しつゝある一事に就き特に貴意を喚起せんと欲す。

省は基督教青年會、基督教女子青年會、全國慰問部、猶太教公益團、兵營保護團、米國圖合及び救世軍の七團體をば軍人を慰安すると風紀を緊粛し士氣を鼓舞する重要機關なりと認するに至れり。

團體が米國並に聯合與國軍隊に對し奉仕すべは同一なる目的と密接なる協力に依りて遂行ざるべからざるは論を俟たず。故に以上の七愈々募金事業を開始し一致の行動を採るに當種と宗教との區別なく此共同的奉仕の爲に擧聲援するの必要あるは予の信じて疑はざる所士訓育委員長たる貴下が來十一月十一日より此共同募金をなさんとする以上諸團體をして統一と協力との實を擧げしむる爲の多大の盡性と自治とを害する所以にあらずして其歷史、主義及關係を保持するは寧ろ有効なる奉仕を爲す所以なりと信ずるものなり。

實に彼等の努力によりて國民の道德及精神上の資源を傾注して出征軍隊の後援をなす事は直接戰勝に大なる貢獻をなす所以なるべし。

最後に予は此等團體指導者間の協同精神の示現を慶賀し且つ團體所屬の精神と愛國心とに依りて此共同大募金が至大なる成功を以て冠せらるゝに至ることを信ずる者なり。

一九一八年九月三日

ワシントン白堊館にて

ウドロウ、ウイルソン

兵士訓育委員長

アール、ビー、フオズディック殿

二、共同募集金規約摘要

一、共同募金期間は來十一月十一日より一週間とする事

エッチドッチ氏を會計委員として米國內
たる金額は之を同氏の保管に委ねる事
額は此計畫に參加したる七個の團體に對し
例に應じて分配せらるべきこと

億　弗	基督教青年會
五百萬弗	基督教女子青年會
' 萬　弗	全國天主教慰問部
五拾萬弗	猶太教公益團
五百萬弗	兵營保護團
五拾萬弗	米國圖書館組合
五拾萬弗	救世軍

モット氏より寄せられたる電報

（十月十五日受附）

ン大統領の依賴に據り基督教青年會、全國
隊慰問部、猶太教公益團、基督教女子青年
の三個の聯合公共團體は多大の熱心を以て
十一日より十八日に至る間に壹億七千萬弗
る共同計畫を實行することに同意を表した

大英國その他の陸軍、更に支那及他國の戰場勞働者並に捕虜となれるものに對し、體育、智育社交及道德の福利を供給する爲の費途に充當せらるべきものなり。

以上の七團體は主として健全なる軍人の士氣及び能率を增進するが爲に協力するものにして赤十字社が傷病兵間に奉仕すると對立するものなり、パアシング將軍は此の奉仕の事業は兵士の戰鬪能率を一割方增進するに足るものなりと言はれたり。而してホッシュ將軍、ペターン將軍、ヘーグ將軍、デイアッ將軍、その他の軍隊首腦者等は皆之と等しき證言を與へられたり。

予はこの共同募金計畫の總裁とし、又七個の團體の名に於て請ふ、貴同盟の盡力により此計畫が日本に於ても實行せられ最も有力なる代表者一名及び他の有力なる委員等撰出せられ、又全國各都會にもこの計畫實行の爲めの代表者の選まるゝに至らんことを我聯合委員は日本帝國より此の未曾有の最大なる人道的企業に對し七萬五千弗を分擔額として引受けられんことを敢て望む者なり。是れ宗教人種、若くは

モット

聯合國軍隊慰問協贊會

設立趣意書

大戰勃發して以來既に五星霜而も未だ終熄の睹すべからず職場に在りて硝烟に櫛り彈雨に備さに嘗めつゝある軍隊の勞苦亦察知するあり是に於て列國は軍隊慰問事業の必要なる軍隊に對して其精神を慰安し其健康を保全し氣を鼓舞し激勵するの計畫陸續として起るに。

隊慰問の事たる世界的企畫にして人種國籍及等の異同によりて差等を爲すべきものにあら人道を重むずる者の一大要務と謂はざるべか統領ウィルソン氏は此際大規模なる軍隊慰問計畫せられ其親翰を發して七個の公共團體にるに聯合國軍隊慰問事業資金募集の事を以て帝國基督教青年會に電報を寄せ其贊同を求め來れり

帝國亦聯合國の一員として曩に青島征略の事あり爾來艨艟地中海に出動し猊貅西伯利に進征し而して軍隊慰問のことに關しても各種の施設之なきにあらずと雖も戰禍の中心を距るゝこと遠きを以て歐洲各國の如く全力を盡して活動する能はざるを遺憾とす是を以て吾人は玆に此米國の來電に贊同して聯合國軍隊慰問協贊會なるものを組織し一般の義捐金を募集して米國に於ける軍隊慰問の大擧に贊加せむと欲す冀くは江湖の仁人志士吾人の微衷を諒せられ人道的奉仕と愛國的對外交誼との爲めに本會の目的を贊し之が遂行を援助せられむことを。

大正七年十一月

發起人總代

公爵 徳川 家達　　侯爵 大隈 重信

伯爵 吉井 幸藏　　男爵 澁澤 榮一

一木喜徳郎　　平山 成信

早川千吉郎　　江原 素六

TELEPHONE SHIMBASHI 2334.



◎歐文和文處方調劑
◎歐米有名賣藥各種
◎舶來化粧品各種
◎醫療器械各種
◎舶來滋養品各種

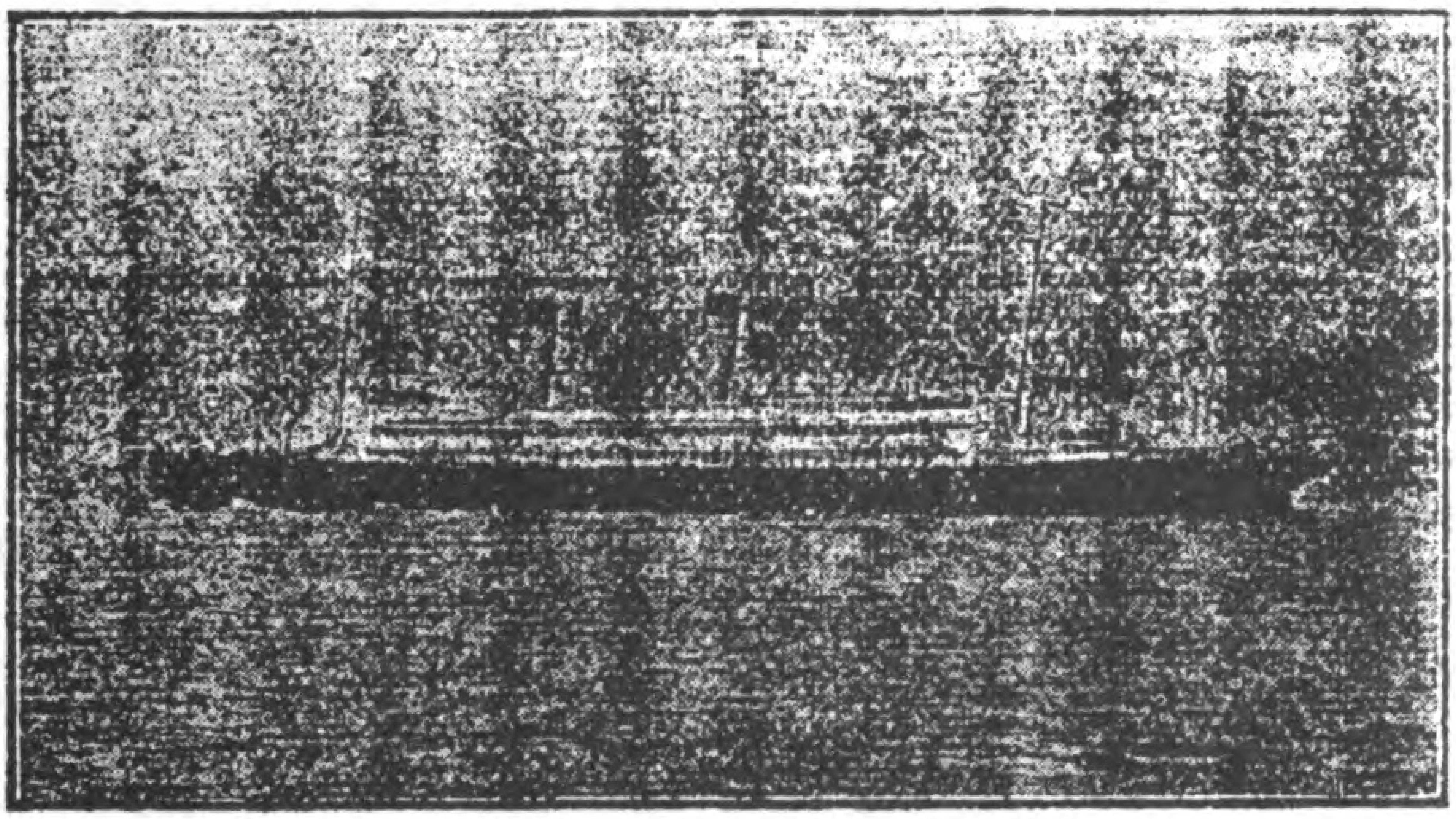
東京京橋區銀座尾張町一丁目一番地

銀座藥品部

（舊聖路加藥品部）

電話新橋二千三百三十四番

弊店は正確誠實迅速を旨とし凡て責任を以て販賣致し候間何卒御用被仰付度候



營業所　横濱市山下町四番（電話四四〇〇、四四〇三番 四四〇二、四四〇四）

出張所
神戸市京町八三番。香港、キングス、ビルヂング
上海四川路ノース、チヤイナ、インシユランス、ビルヂング
マニラ　チヤコビルヂング、桑港、マーケット街六二五、マーチヤンツ、ナシヨナル、バンクビルデング

北米航路（桑港、布哇、横濱、神戸、長崎 上海、マニラ、及香港間）

本航路は太平洋航路中氣候温和、海上平穏なること第一にして船舶の巨大、設備の完全、待遇の懇切とに由り航海最も安全且つ愉快なり

天洋丸	三重螺旋タービン機	排水量 一三、〇〇〇噸
春洋丸	同	同 一三、〇〇〇噸
コレヤ丸	双螺旋機	同 一〇、〇〇〇噸
サイベリヤ丸	同	同 一〇、〇〇〇噸
日本丸	同	同 一一、〇〇〇噸
波斯丸	同	同 九、〇〇〇噸

南米航路（香港、門司、神戸、横濱、ホノルル、桑港 羅府、墨國、巴奈馬、秘露及智利諸港間）

本航路は東洋南米間唯一の定期航路なり

安洋丸	排水量 一八、七〇〇噸
紀洋丸	同 一七、二〇〇噸
静洋丸	同 一四、〇〇〇噸

各寄港地及各國樞要都市に代理店の設置あれば船室保留並に發着日割等は最寄に就て御問合せを乞ふ

ギヨン夫人傳

—ウフハム氏に據る—

森田松榮

夫人の内的の變化は直ちに其生活にあらはがおとづれし集會、遊戲、娛樂、舞踏、益に別れをつげたり。此世にさしも尊まれ、る、娛樂は、今我にはうとましくつまらなは如何なれば其らに興じ得たりけんと自らまでに至りぬ」

流行の髮の結び方は彼女は二年前に既に廢しか、今は衣服、調度、生活全體を、目だゝなし、淸楚なものとすることに努めた。

は家庭に於ける自分の立場にも、新らたな自任を感じた。人の思ひに過ぎたる平安を領しの信仰生活を過してゐるうち一六六七年に男を與へられて、歡喜と慰藉とは更にもま

彼女は自分と家庭に限らず、外に向つても前より盛に慈善をした。もとより巨萬の財が積んである上に莫大な月收の一部は夫人の使用に夫から適てられてゐたので、彼女は貧者、病者に對して能ふ限り力を盡し、喜んで財を散じたので、夫人の邸の附近の貧民で夫人の助力に與からないものはなく邸には貧者病者が群がつて來た。夫人は家族の膳から珍味を惜し氣なく彼等に分け與へた。慈善をするのに自己を知らせるのはよくないと思つたので夫人は一人を此方面の仕事にあてゝ、其人を通じて人々を助けるやうに計らひ、又窮乏してゐても、他人から無代で貰ふことを欲しない人々には其人々の感情を害さない樣に負債の手續をさせてまで、その缺乏を補給してやつた。當時の彼女の言葉は「我は與ふべき何物

か社會を助ける道は、衣食の贈物に限られて
かつた。當時フランスは上下共に風俗が亂れ
ので、ギョン夫人は貧しい若い娘、ことに顏
い娘達に、技藝や商法を仕込ませた。獨立の
あれば、誘惑にも強く、墮落へ自らゆくとい
もなからうと思つたからであつた。
墮落の底に沈んだ婦人を助け上げるのも、自
とめと感じた彼女は、數人の同性を、神の佑
て、甦生の喜びに入れたが、その中には家柄
、美しい婦人もゐた。
に金品を贈る外、親しく訪づれて、看護をし
膏藥の製造をならつたり、繃帶かけを手傳つ
死者の埋葬料を負擔したり、彼女の仕事は多
わたつた。
はかく、內外の人々の靈肉の爲に忙しく日を
けれども、彼女の最大の仕事と樂とは、己が

どとめ度なかりければ、我は祈禱の爲、四時に起き
ぬ」と彼女は云つてゐる。
彼女の感化は強く大きく擴がつていつた、彼女の
信仰生活を沒常識と嘲笑した婦人や、彼女を歡樂界
へ誘はうとした婦人達は、みんな次第に彼女に牽き
つけられて來て、前には見向きもしなかつた、否寧
ろ避けさへもしてゐた靈性上のことを、思ふ樣にな
つた。
或年長の婦人が、觀劇を誘ひに來た時、ギョン夫
人は、今迄さる所へ行つたこともなく、又不健康な
夫の傍をはなれ難いからといつて斷つた。その婦
人は、病人の看病は年寄にさせるがよい、あなたは
その若さなのにさう閉ぢ込つてゐないで、氣をくの
ろがせたらと云つた。夫人は、私は夫が不健康な時
には殊更心を用ひますからといつて、言葉をあらた
めて、自分が觀劇を非とすることを述べた所、其婦

に感動して、以後は自分も觀劇を屢した。
また、人々が信仰上の談論をするとき、そ
に智的で思索的な」時には、興味をあまり
、默然としてゐたが、或婦人は、人々の談
夫人の沈默によつて信仰へ動かされたと
來た。
人とは大變親しい交をして、信仰の友とし
く兩人は慰藉と鼓舞とを與へ合つた。
理解した人々は、少なかつた。多くは嘲笑
者は、彼女は心靈の幻覺の下にゐるとさへ
此頃夫の用務上、彼女は夫と共に暫く田舍
が、セイン河畔の寂しい場所をさがしては
つて、神との交通を求めた。しかし「わが
ひがたくなつかしかりき」と彼女が云つて
にも長くはゐなかつた。
實父は彼女をよく了解してゐたけれども、
と彼女との心を益隔たつていつた。

る我子の愛情を碎き盡さうとしてゐた姑には、尤も
らしい口實が少くなかつた。私がゐて取締らなか
つたなら嫁の金遣ひでは、この家が破產して了ふ。
といふやうなことを姑からギヨン氏はきかされた。
夫人は勿論、祈禱默想の時を作ることを心がけたけ
れども、その爲少しでも、夫に不自由はかけなかつ
た。然し夫はもとから深い信仰生活を知らず、理解
もない身である。彼女の緊張し切つた信仰生活に同
感も贊成も出來なかつた。その上、母と侍女とから
絶えず、妻の好ましくないことをきかされるので、
不健康の身の、氣分はいよ／＼平らかでなく、或時
は愛こまやかに、或時は疑つて冷やかであつた。し
かし時には妻の信仰に感じ、又心も和らいで、いつ
までも一緒にゐてくれと言張つたりした。
ギヨン夫人の缺點を、一つでも多く見出すほど、
姑の氣に入ることを、知つてゐた侍女は、夫人の
見張り役となり、主人を主人とも思はない不遜な態

拜を了つて歸つてくる若夫人を待つてゐたも
冷酷な姑の痛罵であつた。辨明すると口答を
といつては叱られ、默つてゐれば又それが惡い
られた。夫人が偶病氣になつた時、姑は枕許
、「その病は祈禱と聖餐から起つたのです、」と
つた。
又孫にいろ〳〵意地をつけて母を苦しませ、
對させ、母を輕蔑させたが、夫人は、これは
もつらい十字架であつたといつてゐる。この
の敬虔な友は「今矯すことは出來ないのです
忍んで耐え、萬事を神様におまかせなさい」
たが、母の强い純な愛は徹つて、後年その子
なつた。
寥たる家庭生活の中に在つた彼女には、近親
一人として全く心を明す人がゐなかつた。實
に世を去つてゐた。彼女を深く愛し、よく靈

ト修道院に入つてゐた。
「あゝ我をば心に懸けくるゝ人、または、我胸を打
明くべき人の一人だにありもせばと我は獨言ちぬ。
そは如何計りの慰めなりしならん。」
虐待と冷遇の眞中に在つて、その嘆きをした若い
夫人のつらさは思ひやられる。
この時、力と慰とを囁きながら、可愛らしい小
さな魂が夫人へ來た。夫人は、苦しみも悲しみも忘
れて、それを胸へひしと押しつけて、あまたゝび感
謝の祈を神へさゝげた。はじめての女の兒。一六六
九年のことであつた。

△轉　居

河井、渡邊兩幹事は東京市牛込區神樂町二丁目
十六番地に轉居さる。

戰線に送る女子青年會の慰問品

平岩末子

結を告げるのでせうか。前代未聞の世界戰東の我日軍の出兵を促しました。我等が敬、我等が愛する兄弟はシベリヤの戰場に熱してゐるではありませんか。國土に殘る民の公園日比谷の音樂堂に吹奏される軍樂隊のメロデーに愛國の思ひの限りを寄せるのの國民性の自然の發露だと存じます。

青年會は九月十六日先づ文學士齋藤惣一氏リヤ戰線視察談」を御依賴して交戰國の我々する警告を伺ひました。辯士の說き進むに各自の胸には音なき反響を發するかのやうづますその眼底にかつて夢想さへしなかつる戰野が展開される、そこには砲聲が聞えが飛ぶ、糖分の缺乏を僅か一塊の砂糖に滿して喜ばうとする疲れきつて兵士の姿がら

が高くしかも明かに聞えて來ました。

辯士の退場に次いで登壇された河井先生の御言葉こそ戰時に於ける婦人の貢獻の理想でなければなりません。曰く「此際私共は特に小說一つ讀むにも心靈の向上に資するものを選びませう。蓄音器のレコードを買ふ時も音樂趣味を墮落させる惧のあるものは捨てませう。」當面の問題に觸るゝ事餘りに遠きに似て實はこれが根本問題ではありますまいか。高尙な精神的渴望に缺け向上心に乏しい婦人の手になつた慰問袋は神の前に價値少ないものです。二三日を經て早速慰問品製作の協議會が會館で開かれました。其結果幹部の心籠めた刷物は時間と金力と勞力との奉仕を嘆願する動員令となつて會員七百人の戶毎に郵便脚夫の手によりて配布され十月一日を第一回として每火曜日は戰時仕事日と定められました。

時代遲れの恨がありますと云つて活動寫眞の
ムの製作所を所有致しません當青年會は覺束
な此筆者の筆一本をよすがに其實況の映畫を御
入れる事を餘儀なくされました。「最も樂しき映
賞は最も多くの想像力の自由を働せた時だ」と云
します。聽明なる讀者諸姉は御上手な觀賞
持と信じて私は大膽にも映寫を始めます。

□□□時は十月一日の朝空は一面の濃霧に蔽は
る、さはれロングフエローの「雲叢の後にも
猶輝けり」です。故池田蕉園さんの筆かと思
やうな若夫人が九時を合圖に會館の樓上應接
ノアの傍らに現はれる。「さあようこそ御早く
とすかさぬ加藤幹事の挨拶に迎へられて、「日
沙汰をして居りますからせめてこんな時で
銀鈴が響く。室の中央に据え付けられた長方
ーブルの上に人待顔に並んでゐる一番端の手

繃帶巻に餘念ない。白魚のやうな指先の運動の早
よ、窓際に「アラマア」と笑聲が起つた。今しも幾
かの風呂敷から零れ出る赤や青の丸いものは「チ
ックの避難民の子供達に寄贈するとて會の英語科
料理科の生徒の手で出來上つた御人形です」と云
說明があつたらしい。臨席の某侯爵の令孫は數あ
布人形の顔に目鼻を書きませうと志願される。階
から大きな聲して、平岩さんと呼ぶ女中の右の掌
は持ちきれぬ許りの書留郵便、片方の腕に抱へた
包の高さはおしげさんの鼻を突いてゐる。開封すれ
ば一圓、五十錢、十圓、五圓、三十錢、一つ一つ
の多少の相違こそあれ皆均しく愛國心と義俠の
との靈しき結晶から輝き出た光に他ならない。
の破目から覗く眞綿は煌々と純白である。正午の
が中西幹事によつて唱へられてより靜寂は破れて
び雜沓の仕事場の光景に歸へつた午後の會場は又

である。其人込の中を左右に縫うてプリユートをヒラヒラさせて渡邊幹事が飛び込む一室、こゝは又何の會場であらうか。色々來て慰問品として不合格になつた短衣の代參照の靴下の中ばき案は加藤幹事によつてた。該案は相談會に双手を以て贊成され二作を十月二十日を期して取かゝる事に一決

第三次の仕事日は體操場に各々ミシンをの大テーブルが整然と配置されてゐる。料挽器は唐辛子の碎粉器に利用され紙と布とてゝ裁つ人、紙を揉む人、眞綿を布に曳く辛子を其上に撒く。是等の防寒の料の疊み二枚の小人島の敷蒲團のやうなものはミシられて半足の中ばきは完成する。手縫では二時間を要する仕事も或は學校の寄宿舍のへられ或は令嬢夫人達が各自の家庭で引き朝、燦々たる旭日の射し入る會館の一室に幹部の數人は積み上げ乍ら會心の笑を滿面に湛へてゐるので御座います。

□□□□□慰問品の行衞は何處？　シベリヤの冬は魚や肉さへ氷つて斧で割り鋸で引くと云ふ零下何十度の寒さだときゝます。（大正七年十月二十日記）

會告

本誌十一月號は河井幹事西伯利紀行を多く本月號に掲載せんとし、同氏の歸京を待ちて發行せし爲、發行期日に後れし事讀者諸姉の諒せられん事を。

本局電話交換手體操の組　去初夏の一夕交換手
招待會席上にてミスフォンダーの燕ダンスの妙
恍惚として姉妹達の心底に發芽したる該體操科
の新學期より開始されたり。授業に先立ち三
間の宗教講話あり、本會幹事交代して講師の任
る。教授時間は毎水曜日午後六時半より七時半
して擔任敎師として會員なる體操専門の藤島杜
姉を得たるを感謝す。

語商業科選科(タイプライター)は豫定の如く九月中旬
されぬ。西洋人一名日本人一名の擔任敎師の許
四名の生徒あり、尚餘席あれば隨時入學を歡
業時間毎日二時間(午後一時半より午後三時半まで)月謝金五圓
科　にては目下ランチ講習開催中、普通科に
名の生徒あり。英語科は秋期に當り會話専修
し生徒五十名に達す。夜學も十月下旬開始し

後再度の相談會にて靴下の中ばきを二千足慰問品
して出征兵士に送る可く企圖し其製作を十月廿日
尾よく結了したり。慰問品部會計報告左の如し。
附金總收入金貳百參拾六圓五十四錢、支出金貳百
五圓八十七錢、殘金參拾圓六拾七錢、物品御寄
の內眞綿は八百目其他布類及糸數種、殘金は同事
繼續の支出に使用す可きものと御了承を乞ふ。かく
も多くの金品を御寄附下されし御厚情に對し又仕事
日には御來館の上或は御自宅或は學校にて尊き時間
を右製作の爲御割き下されし會友諸姉の御芳志を
んで茲に深謝す。

(三)講演會　十月五日(土曜日)午後二時半開會、新
歸朝者なる辯士田島進先生の「戰時アメリカに於け
る所感」と題したる御講演は我等會員に慰問品製作
の熱を増さしめたるを覺ゆ。

(四)英語社交會　十月十日(木曜日)午後六時半開會

を御來朝中なりしソーパル博士に御依頼す置かれたる丸テーブルを華やかに飾るコス辨は御熱辯にゆらぎつ約三十五名の出席者所多く散會したり。

會

例年の如く本會事業費（王子巡廻看護業、開始準備中の王子保育事業及び旅行者を得る目的を以て來る十一月十六日午後牛町小笠原伯爵御庭園にて本會主催慈善園遊せんとす。切符封入會友諸姉に刷物を配布頼したるが如く御一人なりとも多く御知人御來會の程を切望す。會費金壹圓及び參拾あり。

濱女子青年會

い秋に當り先づ第一に忍ばれますのは窮北ペリアの地にありて荒凉の冬を迎へやうと出征將士、而して戰亂の巷に活路を失へる衆の上で御座います。我横濱女子青年會て社の繃帶卷事業を援助し毎週月曜日、木曜日、午後二時より五時まで今日に至る迄繃帶五百八十三卷スワップス廿個、雜巾十五個、ハンカチーフ數枚働きました。

此秋より新幹事黒田沿子姉、教育科主任上野俊子姉を迎へ大なる勇氣と抱負を以て進んで居ります。どうか萬難に打勝つて世の中に貢獻することある女子青年會たらむことを皆樣の御熱心なお禱に加へて頂き度う存じます。

個人消息（二）

○井深花子夫人。御令息盲腸炎にて入院さる、御全快の早き事を祈りて止まず。

○ファーネス教授。米國ペッサーカレッヂの同氏は女子青年會を訪問され諸機關の具備せるを見て滿足を表せらる。

○ソーパー博士。東京女子青年會十月の英語社交會にて演說されたり。

○廣岡淺子刀自。十月中旬より淺岡かめ子姉宅に滯在中婦人傳道會社婦人大會に講演する。

○ミス、スミス。以前札幌女學校の校長たりし同姉の爲同窓生は女子學院に集り送別會を開く。

十二回日本基督教會大會
二日午前九時より富士見町
會にて開催、讃美歌、聖書朗
讀の後、多田素氏の說教、終
獻金をなし、聖餐を守り十數
祈禱の後大會準備に移る。
結果井深梶之助氏議長に擧
。
午後七時より神田美土代町
會館に奉仕者大會開かる、
演說、笹倉氏の日本基督教
況につき數字の報告、邊見
、塚田福三、ミス、マクド
諸氏の演說あり、後約四百
仕者茶菓を共にし懇談す、

會にて婦人大會を開く、議長の挨
拶、高倉德太郎氏の「感激の世界」
三谷民子姉の「僞らざる愛」桑田繁
太郎氏の「教會に於ける婦人の位
置」の講演ありき。この日空は灰
色なりしも聽衆の面には光彩見え
たり。

十四日午後七時より富士見町教會堂にて信徒大會開かれたり、各教會の旗を立てゝ其に居並ぶ會衆は八百人にして二階下共後部は佇立の有様なりき。總務局二十五年記念として壹萬五千圓の傳道資金を二萬圓とするに決したり。終りに大會を代表して富士見町教會長老高橋本吉氏より米國大統領ウキ

緊張せる集會なりき。

▲**婦人傳道會社修養會**　十月十五日より十七日迄富士見町教會にて午前より午後にかけ聖書研究講演等あり、十七日午後には婦人大會開かれ三谷民子先生の出發點と到着地（本文掲載）と廣岡淺子刀自の「豫言者の氣慨貴ぶべし」の講演は一言一句熱烈なる叫びにして、勇國婦人の氣慨貴ぶべしと感ぜられき。

▲**京濱教役者婦人祈禱會**　婦風會主催のもとに十月廿六日午前十時より銀座教會にて開かる久布白姉ミススペンサーの司會にて慰問使として歐米を歴訪されし山本邦之

本婦人の奉仕につき、委つれ、會食となり午後利亞同胞につきてとの題顯氏の講演ありき。此雲り時ならぬ寒さなりし會餘りに多からざりしも祈禱會なりき。

二回組合教會總會　日本の總會は去る三日より七教會堂にて行はれしが議崎弘道氏當選せられ、事のことは從前の如く大阪と云ふ。

る婦人連の提携　十月十聞にて報ぜられたる如く餘校の高等女學校及び女提携して、社會的、家庭的の活動を促進せんとの發起人會をお茶の水女子高師櫻陰會にて開催せりと席上羽仁もと子姉は「禁酒問題などは專門的で會の仕事ではありません。禁酒の事でも子供の誕生祝とか、女の交つた會合には酒を絕對に廢し、贈答品にも麥酒其他の酒類を用ひぬといふ風に內部からこれを助成して行く樣にしたいといふのが私共の會の事業ではないかと思はれます。會の主旨よろこばし。

▲恐ろしき工女虐待　長野縣の某紡績工場にては、工女の絲繰成績不良なりしとて、彼等の監督者はを送り、將に蒸し殺されん許りの苦熱にあはしたる由。社會の裏面に斯る悲慘事のひそめるは歎はしき極なり。

▲女子英學塾英語會　同塾にては十月十八日赤十字寄附の目的にて英語假面劇を催し盛會なりき。

▲東京女子大學及下關梅光女學院は女子青年會支部を組織し本部に加入を申込みたり。

人　山脇三重子氏　板倉みや子夫人　原するゑ
岩永夫人　坂本夫人　江口春子夫人　福井家
玉子氏　宮本和子氏　工藤ふみ子氏　河本夫
口よしの氏　折居きん氏　北澤夫人　岩崎と
宗像夫人　小林茂子氏　崎川夫人　瓜生夫
室夫人　蕨麗子氏　渡邊みち子氏　丸山房子
田初代氏　高野夫人　加瀬夫人　河井先生
山賀咲子夫人　松岡夫人　福井春子氏　千
氏　山中福江子氏　加藤高氏　佐藤昌氏　高
豊川氏　村上琴子氏　香川チトセ氏　山崎
西井岸夫人　黒川とよ子氏　小宮珠子氏
子夫人　高橋きみ子氏　後藤すみ子夫人　川
夫人　西芝子氏　三輪田良子氏　富澤愛子氏
ね子氏　佐藤正子氏　宇佐美淸子夫人　赤羽
林房子氏　田中爲子氏　淺野春子夫人　高

子夫人　西邑夫人　千葉夫人　小室夫人　大山令夫
人　鈴木歌子氏　嶺夫人　井田久子氏　林壽子夫人
靑木　氏　川島芳子氏　小澤爲子氏　淸岡夫人
吉濱幾子氏　後藤梅野氏　檻田千惠子夫人　阪倉春
子氏　朝吹夫人　福原夫人　川上千嘉子氏　德永榮
子氏　今西夫人　萬崎りえ子氏　沼澤國子氏　山本
操子夫人　東京女子大學寄宿舍生徒諸姉　水野子爵
母堂　田中みちゑ氏　神戸女學院靑年會　宮城女學
校靑年會　小澤勝子婦人

「女子靑年界」定價及廣告料

定價郵稅	內地	海外
一部	金八錢	金拾壹錢
一年前金	八拾錢	金壹圓貳拾錢

廣告料	一回揭載
一行	金五拾錢
四分一頁	金五圓
半頁	九圓
全頁	金拾五圓

年極又は回數により割引有

大正七年十月廿八日印刷納本
大正七年十一月一日發行
發行所　神田區北神保町十四番地　日本基督敎女子靑年會　電話本局五九八番　振替東京二三七二三番
發行兼編輯人　神田區北神保町十四番地　河井道子
印刷人　芝區[illegible]山和泉町七番地　前川吉太郎
印刷所　右同所　三[illegible]舍

ALTEMUS' BEAUTIFUL STORIES

(聖書の中の物語)

ne Boys of the Bible–Hartwell James	1.65–.12
armer's Wife: a Story of Ruth–J. H. Willard	.80–.04
rst Christmas–J. H. Willard	.80–.04
rst Easter–J. H. Willard	.80–.04
ve Kings in a Cave: the Story of a Great Battle–J. H. Willard	.80–.04
an Who Did Not Die: the Story of Elijah–J. H. Willard	.80–.04
nce in Seven Years: the Story of the Jubilee–J. H. Willard	.80–.04
ncle Jim's Bible Stories–H. James	1.65–.12
hat is Sweeter than Honey: the Story of Samson–J. H. Willard	.80–.04
heh Iron Did Swim: the Story of Elisha–J. H. Willard	.80–.04
isest Man: the Story of Solomon–J. H. Willard	.80–.04
ith Hammer and Nail: the Story of Jael and Sisera–J. H. Willard	.80–.04

KING'S HIGHWAY SERIES

(宗教的•道德的物語)

Edited by E. Hershey Sneeth and George Hodges and Henry Hallam Tweedy

ne Way of the Gate	1.50–.08
ne Way of the Green Pastures	1.50–.08
ne Way of the Hills	1.30–.08
ne Way of the King's Gardens	1.75–.08
ne Way of the King's Palace	1.75–.08
ne Way of the Mountains	1.50–.08
ne Way of the Rivers	1.30–.08
ne Way of the Stars	1.50–.08

FAIRY TALES AND STORIES

(美麗なる彩色繪入物語)

sop's Fable–Lllustrated by Edwin Noble	2.75–.12
ice in Wonderland–Pictured by Mabel Lucie Attwell	3.45–.12
arles Dickens' Children Stories	1.40–.08
vourite Fairy Stories–Retold by Edric Vredenburg	2.20–.12
imm's Fairy Tales–Pictured by Mabel Lucie Attwell	2.75–.12
ildren's Stories from Russian Fairy Tales and Legends–Seraphima Pulman	2.75–.12
other Stories from the New Testament	1.10–.08
d Fairy Tales–Retold by Edric Vredenburg	2.20–.12
binson Crusoe–Daniel Defoe	2.20–.12
ories of Royal Children from English History–Doris Ashley	1.95–.12

Osaka

We were fortunate in having Miss Kawai with us for tl
meeting of the committee in the Autum. At this meeti
Promoting Committee decided to organize and they have el
nominating committee and a committee on constitution.

In addition to the Bible classes begun in the spring
Kugimiya, one of the leading pastors of the city, is teaching
for advanced students. Mr. Okitsu, formerly a teacher in K
Gakko, has begun a normal class for Sunday School teachers.

Our girls are very busy working on rag dolls and mitt
send to Miss Matthew in Siberia and on comfort bags for Ja
soldiers.

Our night school is growing very rapidly.

Kobe

Miss Topping from Kobe writes most enthusiastically of h
work. She feels very keenly the necessity of a Dormito
business girls at once. Before she had been in her house a
she was asked to take one girl in. Miss Topping is in very
touch with the Japanese pastors in California and she gets
suggestions from them as well as letters of introduction, Rev.
pastor of Walnut Grove Japanese church, California: Rev. Mi
formerly pastor of the Union Church in San Francisco, an
missionaries in the southern part of Japan will help the Kobe A
tion in caring for emigrant girls. The Japanese pastors in
have given Miss Topping the most cordial welcome to the cit
the Rev. Mr. Hinowara has been exceedingly kind in givin
advice as to how to find the names and addresses of the young
of the different churches who are attending Government scho
in that city.

Mrs. Matsumoto, head of the Kwansei Gakuin, wishe
Association to work with adolescent girls. Mrs. Jo, who is h
the Dojyo Kwai, is another strong friend of our new Associatio
With all these strong friends, we trust that the Kobe Asso
may have a very healthy and rapid growth.

Kyoto

Miss Chambers left for Kyoto early in October to stu
language and work with Miss Crawford. These secretaries ar
grateful for the splendid opportunities already coming to th
ntering wedges. They have an English class of sixty nurses
eible class in a mission Sunday School in the heart of the
weaving section in Kyoto, and probably in Japan. The Do
Birls have been exceedingly helpful in many ways and just n
response to their request, our secretarise are helping them wi
work they are undertaking for the refugees in Siberia. Th
glass to be started will be one to study the work of the Y. W
cinotehr countries, especially in America.

oney in here as long as things are as unsettled as they are now. It impossible to find rooms. Many of these people are sleeping at ght in the station on the cement floors, with no bedding at all. u see whole families there in little groups together. We are, of urse, trying to get as much barrack room as we need, but we nit our work to the refugees and do not feel that as yet we can ke in the poor or this city. That must be for this city to attend We are trying, too, to get some work rooms and other things rted so that we can give work to as many as possible."

Tokyo Association.

Rev. Susumu Tajima, who has recently returned from New York here he took a course of study at Union Theological Seminary, oke to the members of the Association on his "Impressions of ar Time Conditions in the United States." He spoke particularly the activities of the women and urged Japanese women to take a ger share in war and relief work.

Mr. Yamamoto, Mr. Suga and Mr. Masutomi of the Y. M C. A. rty recently from France, called at the Association to extend eetings.

Dr. Caroline Furness, Professor of Astronomy at Vassar College, ho is here under the Woman's Branch of the Council of National fense to promote friendly relations between the women of the United ates and the women of Japan, called at the Association recently. e was very much impressed with our building and activities. She is especially interested in our work because Vassar College Girls me years ago gave Four Thousand ($400.000) Dollars toward our ilding.

The English Speaking Society met for its monthly meeting, tober 10th, with about thirty members present. Dr. Soper of Drew eological Seminary, spoke of the religious activities in the United ates which have arisen because of the war, and also of the nderful influence of the Church on the ideals of the nation.

Tuesday has been made Red Cross Day in the Association d there have been from ten to thirty girls at each meeting iking socks for the Japanese soldiers in Siberia. The socks are ide of cloth with layers of silk batting with a sprinkling of red pper between, and cover just the fore part of the foot. Materials these socks were donated by friends and members. In addition this Red Cross work, dolls and toys are being gathered to send the Czech children in Vladivostok.

Besides the twenty two Bible classes of last term, two new ones ve been formed; one is composed of girls from the Joigakko (Women's edical School) and the other is a class of Christian girls who are idying Church History with Miss Hiraiwa, the office secretary.

Miss Patterson has started her cooking classes with an enrollment about thirty. One class is taking a lunch course and two are ing general courses.

The regular meeting of the National Committee which was t been held October 12, was postponed on account of the abse Miss Kawai and Miss Matthew in Siberia. This meeting called when Miss Kawai returns.

Miss Kawai left for Vladivostok on the evening of Octobe as decided by the committee at a special meeting. As far as p she will investigate the conditions of Japanese soldiers, refuge Japanese women. The committee hope this may be the beg of some definite piece of Association work. It is not know when Miss Kawai will return, but it is hoped that when she back she will travel throughout the country, making reports o she has seen. It will save much time in planning if any organ or school wishing to have Miss Kawai, will write to the N Office, giving available dates.

Miss Matthew writes most interestingly of the work in S A letter has been received in which she says.

"Things are very exciting here in the many opportunitie come to us. We have just been granted two barracks for our re and tomorrow cleaning will begin. People, like squatters, have possession of these barracks, paying no rent some of them not esp needy, but without other places in which to live, so when s or refugees are to be put into these places, they have to be p and some other arrangements made for them. We expect to big kitchen there and to organize the women to work at all ki things, cleaning and cooking, etc. We also expect to have s rooms and other work rooms there so that they can perhaps than pay for their food. We also are now considering the equ of a hospital for the refugee work this winter. The children refugees are being taken into the city schools. They are to es one special school for those who live all together in the barracks.

On Oct. 2nd two hundred new refugees came in. Ninety o had a little money and some friends here so that they have alrea the cars, but 110 of them are still there. They are in freight with a stove in the center and two huge bunks filling eithe The floor part on one side of the car I saw was filled wit clean looking straw, in which the children, I suppose cuddled to sleep. The food was in baskets and all clothes they had le with the few articles of furniture they had brought, on the sl and the older ones must have slept there too. I saw one old mother, 75 years old, whose son is in Canada. She and her daug law hope to get there in some way. They were such clean, s looking, hard working people, I would be glad to see them in Am if they could get there. They had been four months on the wa and had stopped in the different towns along the way, workin getting food as they could, and living in these freight cars.

腸内の病原菌を死滅せしむる唯一の

整腸常備藥

ラクトスターゼ

長壽保命の要素と稱せられたる乳酸菌の製劑たる本品は腸内に繁殖する各種の病原菌を死滅せしむる作用あるのみならず、腸内の腐敗醱酵を制止し、下痢便秘等を豫防治癒せしむる効顯著なる爲め總ての腸疾患小兒の消化不良等に對し整腸藥として賞用せられつゝあり。

傳染病研究所に於て目黑氏の實驗報告に據ればコレラ菌は二分間、チフス菌赤痢菌は十分間に乳酸菌培養基にて死滅することを證せられたり。

▲粉末錠劑の二種あり、各地藥舖に販賣す、實驗報告あり贈呈す。

脚氣に賞用せらる、

オリザニン

本邦蛋白化學の泰斗鈴木博士創製の本品は貴重なる新營養劑にして、白米食に因する營養不給殊に脚氣樣症狀に賞用せらる

鈴木博士其他の實驗報告を綜合するに食品中本劑の成分を缺除せんか漸次營養不良となり遂に倒死する事實を動物試驗に依り實證せられたり。


故にオリザニンは營養劑として脚氣、小兒の營養不給、食慾不振、產前產後及病中病後等の營養劑として好適する事を確證せらる。

▲液劑百瓦入、越幾斯劑四十五瓦入の二種あり

▲實驗報告書御申越次第贈呈す

東京室町

三共株式會社


東京銀座
合資會社
山野樂器店
電話 京橋 一〇五二番
二二九八番